

令和 6 年度 業務実績報告書

令和 7 年 6 月

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

I 法人の概要

1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター
- (2) 所在地 岐阜県岐阜市野一色4-6-1
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員の状況 (令和6年4月1日現在)

	氏 名	役 職
理事長	桑原 尚志	センター院長
副理事長	村上 誠一	センター副院長兼事務局長
理事	河合 雅彦	センター副院長
理事	野田 俊之	センター副院長
理事	横井 達夫	センター副院長
理事	田口 路代	センター副院長兼看護部長
理事	清島 満	朝日大学歯学部総合医科学講座内科学教授
理事	石井 直子	学校法人岐阜学園理事長
監事	小森 正悟	弁護士 (小森正悟法律事務所)
監事	山田 英貴	公認会計士・税理士 (山田会計事務所)

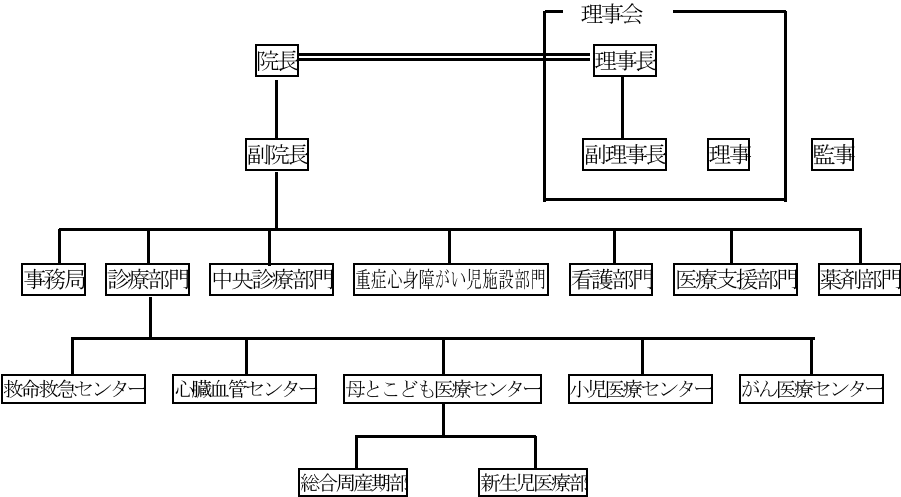
(5) 職員数 (令和6年4月1日現在)

単位: 人

職種	常勤	非常勤	合計
医師	204	46	250
看護師等	766	79	845
コメディカル	290	11	301
事務等	78	223	301
合計	1,338	359	1,697

(6) 組織図

令和6年4月1日現在



2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター（以下「法人」という。）は、平成 22 年度の設立以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、岐阜圏域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

平成 27 年度から令和元年度までの第 2 期中期目標期間においては、地方独立行政法人制度の特徴を生かした病院経営をしながらより質の高い医療サービスの提供に努め、高度先進医療機器の整備、重症心身障がい児施設「すこやか」の開設、経常収支比率 100% の 3 年目からの達成など着実な成果をあげた。

一方、医療を取り巻く環境は、少子高齢化が進行し、2025 年には全ての団塊世代が 75 歳以上となることから、将来あるべき医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築を通じて、地域における医療や介護を確保するため、県では、地域医療構想を策定し、医療機能の分化や地域の医療機関の連携を推進している。

このため、第 3 期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第 2 期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自主性・効率性・透明性の高い病院運営に努め、岐阜圏域はもとより、県全体の中核病院として、政策医療を担う等重要な役割を果たすとともに、地域医療構想を踏まえた医療の提供、地域の医療機関への支援等により、県全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

岐阜県総合医療センターの理念は、「県民に信頼され、患者本位の安全で良質な全人的医療の提供」で、①岐阜県の基幹病院としての急性期を中心とした医療を担当する。②科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に努める。③必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保する。④地域の医療機関や福祉施設との連携を重視する。⑤迅速かつ確実な医療とするとともに、効率的な病院運営に努める。⑥医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与することなどを基本方針としている。

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称 岐阜県総合医療センター

(2) 所在地 岐阜県岐阜市野一色 4-6-1

(3) 沿革

年	月	概要
昭和 28 年	7 月	岐阜県立岐阜病院として開院 (病床数 130 床)
昭和 29 年	10 月	総合病院の承認を受ける (病床数 259 床)
昭和 43 年	2 月	救急告示病院に指定
昭和 45 年	6 月	特殊放射線棟新築
昭和 47 年	8 月	東病棟新築 (病床数 370 床)
昭和 49 年	3 月	厚生省臨床研修病院に指定
昭和 58 年	9 月	西病棟新築 (病床数 500 床)
昭和 58 年	11 月	救命救急センター開設
昭和 63 年	3 月	中央診療・新生児センター棟新築 (病床数 522 床)
平成 4 年	2 月	特殊放射線棟増築
平成 4 年	7 月	病院医療総合情報システム導入
平成 8 年	8 月	新生児センター 3 床増床 (病床数 525 床)
平成 8 年	12 月	基幹災害拠点病院に指定
平成 9 年	4 月	院外処方箋実施
平成 9 年	7 月	結核病床を廃止し、一般病床に変更 (病床数 530 床)
平成 11 年	8 月	クリニカルパス導入
平成 11 年	11 月	25 床増床 (病床数 555 床)
平成 13 年	6 月	病診連携室（平成 14 年 4 月より病診連携部に改組）設置
		開放型病床（12 床）開設 (平成 14 年 1 月より 27 床)
平成 14 年	3 月	(財) 日本医療機能評価機構による病院機能評価 (Ver. 3. 1) の認定取得
平成 14 年	4 月	女性専用外来開設
平成 14 年	10 月	医療安全部開設
平成 16 年	4 月	新医師臨床研修病院に指定
平成 17 年	1 月	地域がん診療連携拠点病院に指定
平成 18 年	11 月	本館新築。岐阜県総合医療センターへ名称変更 (病床数 590 床)
		岐阜県立病院医療総合情報システム（電子カルテ）導入
平成 19 年	4 月	(財) 日本医療機能評価機構による病院機能評価 (Ver. 5. 0) の認定取得
平成 19 年	8 月	岐阜 DMAT 指定病院に指定（DMAT：災害派遣医療チームの略）
平成 19 年	9 月	7 対 1 看護体制を取得

平成20年	2月	総合周産期母子医療センターに指定
平成20年	9月	地域医療支援病院に指定
平成21年	4月	DPC（入院包括診療報酬制度）対象病院に指定
平成22年	1月	情報交流棟・管理棟改修工事完成
平成22年	4月	地方独立行政法人岐阜県総合医療センターへ移行
平成23年	4月	患者駐車場 500 台の整備
平成24年	3月	DPC 医療機関群Ⅱ群（現：特定病院群）の適用
平成24年	4月	へき地医療拠点病院の指定
平成24年	5月	（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver. 6. 0）の認定取得
平成25年	4月	PICU（小児集中治療室）2床移動
平成25年	7月	ハイブリッド手術室新設
平成26年	10月	PICU（小児集中治療室）4床移動
平成27年	7月	PICU（小児集中治療室）6床移動
平成28年	2月	重症心身障がい児病棟（小児医療センター）完成（病床数 604 床）
平成28年	3月	重症心身障がい児施設「すこやか」運営開始
平成28年	10月	新生児医療センター改修工事完成
平成29年	4月	（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（3rdG:Ver. 1. 1）の認定取得
		日本小児総合医療施設協議会に入会
平成29年	10月	救命救急センター改修工事完成 （S-ICU: 0床→8床、救命救急: 26床→22床、ICU: 4床→0床）
平成30年	10月	5階東西病棟再編（5階東: 54床→40床、5階西: 16床→30床）
平成30年	12月	9階西病棟に感染症専用病床（2床）設置
令和元年	9月	重症心身障がい児施設「すこやか」4階（16床）移動（病床数 620 床）
令和2年	6月	「事件現場医療派遣チーム（IMAT）」の運用に関する協定締結
令和2年	7月	総合サポートセンター運用開始
		NICU（新生児集中治療室）増床（12床→15床）
令和2年	8月	看護師特定行為研修指定研修機関認定
令和5年	1月	医療総合情報システム（電子カルテ）を全面更新
令和5年	3月	（公財）日本医療機能評価機構による病院機能評価（3rdG:Ver. 2. 0）の認定取得
令和5年	8月	紹介受診重点医療機関に指定
令和6年	2月	南棟（放射線治療、外来、手術室2室）完成
令和6年	7月	電子処方箋の運用開始
令和7年	1月	自動検体搬送システム稼働

(4) その他

理念	県民の皆様方に信頼され、患者さん本位の安全で良質な全人的医療を提供します。
主な役割及び機能	- 高度で先進的な急性期医療センター機能 - 救命救急センターを設置する第三次救急医療施設 - 基幹災害拠点病院及びDMAT 指定病院 - 地域がん診療連携拠点病院 - 総合周産期母子医療センター - 小児救急医療拠点病院 - 地域医療支援病院 - へき地医療拠点病院 - エイズ治療拠点病院 - 臨床研修指定病院
重点医療	5つの重点医療と5つのセンターによる高度先進医療の提供 - 救急医療（救命救急センター） - 心血管疾患医療（心臓血管センター） - 周産期医療（母とこども医療センター） - がん医療（がん医療センター） - こども医療（小児医療センター）
診療科目	内科/総合診療科/膠原病科/臨床栄養科/東洋医学科/腎臓内科/血液内科/糖尿病・内分泌内科/感染症内科/精神科/脳神経内科/呼吸器内科/呼吸器内視鏡科/消化器内科/消化器内視鏡科/胆脾内科/肝臓内科/循環器内科/高血圧科/不整脈科/心血管カテーテル治療科/睡眠時無呼吸科/成人先天性心疾患診療科/小児科/小児感染症内科/小児腎臓内科/小児療育内科/小児循環器内科/新生児内科/外科/内視鏡外科/肝胆脾外科/緩和医療科/消化器外科/乳腺外科/整形外科/脊椎脊髄外科/形成外科/脳神経外科/脳血管内治療科/脳腫瘍治療科/呼吸器外科/心臓血管外科/胸部外科/小児外科/小児脳神経外科/小児心臓外科/皮膚科/泌尿器科/泌尿器内視鏡科/前立腺治療科/産科/胎児診療科/産科医療科/婦人科/眼科/耳鼻咽喉科・頭頸部外科/リハビリテーション科/心臓リハビリテーション科/放射線科/放射線診断科/放射線治療科/消化器画像診断科/核医学診療科/歯科口腔外科/口腔腫瘍科/麻酔科/小児麻酔科/産科麻酔科/ペインクリニック科/病理診断科/遺伝子病理診断科/臨床検査科/救急科/脳卒中治療科/小児救急科/遺伝子診療科（77 科目） （令和6年4月1日現在）
病床数	一般病床 620 床（令和6年4月1日現在）
年間延べ患者数 （令和6年度実績）	入院 182,333 人 外来 343,568 人

Ⅱ 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

岐阜県総合医療センターは、岐阜圏域の基幹病院として地域の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療を推進するため、「救急医療」、「心血管疾患医療」、「周産期医療」、「がん医療」、「こども医療」を5つの重点医療として位置づけ、救命救急センターをはじめとする5つのセンターを柱として、地域の基幹病院として急性期医療及び政策医療等を提供した。

高度医療機器については、先進的な医療の提供と質の向上を図るため、稼働状況・費用対効果を勘案しながら、計画的な更新・整備を進めた。

また、当センターの医療を支える優秀な医師・看護師・コメディカル等の医療スタッフを確保するため、特定行為看護師の育成を含め、地方独立行政法人化のメリットを活かして柔軟に、必要な職員の採用を行った。

職員の質の向上については、各職種における資格取得をはじめ、学会や研修・セミナーへの参加を積極的に支援した。また、異なる職種が連携・協働し、それぞれの専門性を発揮するため、チーム医療を推進した。

入退院支援の充実については、入院支援から退院支援への情報共有を図り、患者に継続した支援が実施できるよう設置した「総合サポートセンター」の対象診療科をさらに拡大した。

患者・住民サービスについては、中央検査部門において第2採血室を継続することに加え、中央採血室の拡張工事を実施し、さらなる待ち時間の短縮を図った。また、「提案箱」に投函された患者からの意見を毎日回収し、迅速に対応するとともに、その内容を院内に掲示した。

地域住民・団体に対しては、「岐阜県総合医療センター運営協議会」を開催し、意見交換を実施した。また、患者満足度調査を実施し、その結果を業務改善につなげるとともにホームページで公表した。

近隣医療機関との連携については、その役割分担を明確化することで紹介率78.3%、逆紹介率114.2%を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核的な機能を果たした。また、地域の医療機関や介護・福祉施設と連携し、積極的な退院調整や情報共有を行った。

1-2 調査研究事業

提供する医療の質及び県内の医療水準の向上を図るため、治験事業や調査研究事業に積極的に取り組むとともに、県立看護大学や千葉大学との共同研究を継続した。

また、診療情報の活用として、電子カルテ等診療情報から抽出したDPCデータを使用して10診療科の分析を行った。院内の分析チームによる分析ツールを利用した解析やコンサルタントの活用により、当センターの診療内容を他院のデータと比較することで、各診療科の医師に改善を促し、その改善状況を定量的に評価した。

1-3 教育研修事業

質の高い医療従事者の養成の一環として、新しい医療技術の修得・研究のため、国内外に医師を派遣した。

医師の卒後臨床研修等の充実については、岐阜大学病院との連携を密にしながら当センター独自の研修プログラムを企画、実施したことで、初期臨床研修医35人、専攻医45人を確保することができた。

また、専門医療機関から基幹病院として認定された内科、小児科、整形外科において、その役割（研修プログラムの作成と運用）を果たした。

学生の実習については、感染防止に配慮した上で可能な限り、医学生、看護学生、コメディカルの学生の他、救命救急士等の実習を受け入れた。

1-4 地域支援事業

地域医療への支援のため、高度医療機器の共同利用や共同診療を推進した。

また、医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援として、県立下呂温泉病院、高山赤十字病院等に対する人的支援を継続したほか、岐阜県へき地医療支援機構からの代診要請に対して派遣を行った。

その他にも、講師派遣等、社会的な要請に対しても、随時協力を行い、法人が有する人材や知見を提供した。

「見て！聞いて！知って学ぼう！」をテーマとした対面での健康祭の実施やアレルギーに関する市民公開講座をライブ形式でWEB配信した。また、既存のホームページを通じた情報提供、広報誌「けんこう」や地域医療連携誌「れんけい」の発行に加え、1つの疾患を特集した広報誌「つなぐ」の発行を継続した。

1-5 災害等発生時における医療救護

基幹災害拠点病院としてその機能を発揮するため、災害対策訓練や岐阜市民病院と被害状況及び災害体制についての情報共有訓練を実施した。COVID-19に対しては対策本部を中心として、簡易陰圧室を備えた専用病棟の確保や発熱外来の継続の他、専用病棟以外でも受入れができるよう体制を整えた。また、感染対策部による指導やゾーニングの徹底、患者や職員に感染者が発生した際の迅速な対応等により、院内感染を最小限に抑えることができた。

1-6 重症心身障がい児の入所施設の運営

重症心身障がい児施設「すこやか」において、濃厚な医療的ケアが必要な重症心身障がい児の長期入所の受入れ及び療育・生活支援を実施するとともに、レスパイトケアのために短期入所の受入れを実施した。長期入所については障がいの程度がやや低い周辺児の受入れを開始した他、短期入所については初めて利用する児に限り日帰りでの入所を開始、11月にはWEBでの予約を可能とするなど、新たな取組みを開始した。

これらをはじめ住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組みについては、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

2-1 効率的な業務運営体制の確立

電子カルテシステム更新に合わせて導入した胸部レントゲン診断を支援するAI（人工知能）の継続的な活用やRPA（ロボットによる業務自動化）を導入するとともに、専門的技能を必要とする業務について引き続きアウトソーシングを継続した。

医師の業務負担軽減に向けたタスク・シフトを進めるため、ドクターズアシスタント（医師事務作業補助者）の定着に向けた人員配置のバックアップ体制を維持した。

2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善

収入の確保について、新規入院患者数の減少等により、病床利用率は目標値を大きく下回っているが、診療報酬改定や化学療法患者の増加による診療単価の増加により、入院診療額は対前年度比102%、外来診療額は対前年度比109%と、ともに過去最高額となった。

未収金への対応については、その発生防止対策として、入院決定患者に対する入院費用や福祉制度の説明・支援等を積極的に実施した。発生した未収金については、適切に把握し督促等を実施するとともに、回収困難な未収金については、弁護士法人に委託する等厳格な対応を行った。

一方、費用の削減については、委託契約の見直しや医療機器及び診療材料におけるベンチマークを活用した価格交渉、経費圧縮等に関するアドバイザーを活用した医薬品等の購入方法の見直しや委託費等の経費削減を目的とした取組みにより、コスト削減を図るとともに、適正で効率的な在庫管理の徹底や後発医薬品の計画的な採用等による費用の削減を図った。

3 予算、収支計画及び資金計画（各数値は、1千万円未満の端数をそれぞれ四捨五入しています。）

3-1 決算（令和6年度）

収入については、昨年度と比較して営業収益で約8億7千万円の増額、資本収入で約9億3千万円の減額となり、収入全体で約308億8千万円と約5千万円の減額となった。（年度計画に対しては約8億の減額）

一方、支出については、昨年度と比較して営業費用で約12億5千万円の増額、資本支出で約42億円の減額となり、支出全体で約306億3千万円と約31億2千万円の減額となった。（年度計画に対しては約4億6千万円の減額）

この結果、約2億5千万円の収入超過となった。（年度計画では約6億円の収入超過）

3-2 収支計画に対する実績（令和6年度）

収益の部については、昨年度と比較して営業収益で約8億4千万円の増額となり、収益の部全体で約279億7千万円と約8億5千万円の増額となった。（年度計画に対しては約8千万円の減額）

一方、費用の部については、昨年度と比較して営業費用で約11億3千万円の増額、営業外費用で約2億8千万円の減額となり、費用の部全体で約294億1千万円と約7億円の増額となった。（年度計画に対しては約3億8千万円の増額）

この結果、約14億3千万円の純損失となった。（年度計画では約9億8千万円の純損失）

3-3 資金計画に対する実績（令和6年度）

資金収入については、昨年度と比較して業務活動における収入で約7億7千万円の増額、投資活動による収入で約7千万円の減額、財務活動による収入で約8億7千万円の減額となった。

一方、資金支出については、昨年度と比較して業務活動における支出で約8億4千万円の増額、投資活動による支出で約55億7千万円の減額、財務活動による支出で約5億1千万円の減額となった。

この結果、資金収入全体及び資金支出全体で約311億1千万円と約49億4千万円の減額となり（年度計画に対しては約14億円の減額）、次年度繰越金が約9億3千万円となった。（年度計画では約14億3千万円の繰越）

<目標とする経営指標>

経常収支比率（経常収益／経常費用）が95.1%、医業収支比率（営業収益／営業費用）が100.5%、人件費比率（給与費／医業収益）が51.1%と、年度計画の目標は医業収支比率のみの達成となった。

○経営指標比較

単位：％

項目／年度	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	中期計画
経常収支比率	97.8	102.8	98.8	95.1	95.1	100
医業収支比率 ※1	103.0	108.3	106.1	101.9	100.5	100
人件費比率 ※1	54.2	49.6	51.7	51.4	51.1	50

※1 重症心身障がい児施設を除く

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

働き方改革の実現に向けた取組みとして、医師の業務については、業務と自己研さんの区分を明確にした上で、ビーコンによる自動打刻システムを継続し、時間外労働が多い医師に対して早期に面接指導した。また、医療支援部門との間で可能なタスク・シフト／シェアを推進した。さらに、職員のモチベーション向上に資する取組みとして、人事評価制度の目標評価における成績優秀者に対して手当に反映した。

施設・医療機器の整備については、医療需要や費用対効果等を総合的に判断し必要な医療機器の更新を行うとともに、策定した更新計画に基づき老朽化した本館の機械及び電気設備を計画的に更新した。また、南棟稼働による本館跡地の工事として、中央検査部の拡張工事等を実施した。

内部統制の充実強化では、リスク管理の一環として、各部署が洗い出しを行ったリスク事象への対応について、引き続き検討を行うとともに、実際に発生した事案に対応した。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項については、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	Ⅳ	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	Ⅳ	
1-1-3 診療体制の充実	03	Ⅳ	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	Ⅳ	
1-1-5 重点的に取り組む医療	05	Ⅳ	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	Ⅲ	
1-2-2 診療情報等の活用	07	Ⅳ	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	Ⅲ	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	Ⅲ	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	Ⅲ	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	Ⅲ	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	Ⅲ	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	Ⅳ	
1-5-2 他県等の医療救護への協力	14	Ⅲ	
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実	15	Ⅳ	
1-5-4 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	16	Ⅳ	
1-6 重症心身障がい児の入所施設の運営			
1-6-1 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の充実	17	Ⅲ	
1-6-2 在宅医療支援体制の充実	18	Ⅳ	

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 組織体制の充実	19	Ⅳ	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	20	Ⅳ	
2-1-3 人事評価システムの運用	21	Ⅳ	
2-1-4 事務部門の専門性の向上	22	Ⅳ	
2-1-5 コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底	23	Ⅳ	
2-1-6 適切な情報管理	24	Ⅳ	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	25	Ⅳ	
2-2-2 収入の確保	26	Ⅳ	
2-2-3 費用の削減	27	Ⅳ	
3 予算（人件費の見積含む）、収支計画及び資金計画	28	Ⅲ	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の勤務環境の向上	29	Ⅳ	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	30	Ⅲ	
8-3 施設・医療機器の整備	31	Ⅲ	
8-4 内部統制の充実強化	32	Ⅲ	
8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	33	Ⅲ	

Ⅳ 財務情報及び人員に関する情報

指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
経常収益（千円）	24,797,753	26,930,947	27,302,120	27,116,883	27,947,796
経常費用（千円）	25,346,964	26,209,332	27,626,670	28,525,756	29,375,933
経常利益（千円）	▲549,211	721,615	▲324,549	▲1,408,873	▲1,428,137
従事人員数（年度当初）	1,600	1,640	1,703	1,699	1,697

Ⅴ 項目別の状況

主な指標（1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組）								
項目	指標	達成目標（中期目標・中期計画）	（参考）前中期目標最終年度値	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
1－1	患者満足度（外来）	80%以上	82.2%	85.8%	81.9%	83.2%	79.5%	80.4%
	患者満足度（入院）	90%以上	95.1%	91.5%	93.9%	91.2%	94.9%	93.2%
	紹介率	75%以上	77.3%	70.0%	71.9%	67.2%	74.3%	78.3%
	逆紹介率	95%以上	96.2%	97.6%	110.5%	107.9%	111.2%	114.2%
主な指標（2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組）								
項目	指標	達成目標（中期目標・中期計画）	（参考）前中期目標最終年度値	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
2－2	病床利用率	87%以上	86.7%	76.6%	81.4%	78.7%	78.7%	80.5%
	後発医薬品使用率	85%以上	86.1%	87.7%	87.8%	87.7%	89.2%	90.9%
主な指標（3 予算（人件費の見積含む）、収支計画及び資金計画）								
	指標	達成目標（中期目標・中期計画）	（参考）前中期目標最終年度値	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
	経常収支比率	100%以上	99.7%	97.8%	102.8%	98.8%	95.1%	95.1%
	医業収支比率	100%以上	104.5%	103.0%	108.3%	106.1%	101.9%	100.5%
	職員給与費対医業収益比率	50%以下	48.4%	54.2%	49.6%	51.7%	51.4%	51.1%

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	1-1 診療事業	岐阜圏域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度急性期医療、急性期医療、先進医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。
	※ より質の高い医療の提供	法人が有する人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、チーム医療に貢献できる専門性を持った医療スタッフの確保や医師のタスク・シフティング（業務の移管）に資する特定行為を実施できる看護師の育成及び各職種の教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、チーム医療やクリニカルパスの推進、入退院支援の充実、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）などの活用に取り組むこと。 さらに、院内感染予防、医療事故防止等医療安全対策を徹底し、安全・安心な医療と治療環境の提供に努めること。
	※ 患者・住民サービスの向上	来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めるとともに、患者満足度調査の実施等により満足度の向上を図ること。 また、病院運営について、ホームページなどを通じて積極的に情報発信するとともに、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。
	※ 診療体制の充実	医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実を図ること。
	※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	医療保険者による糖尿病の重症化予防や脳卒中、心臓病その他の循環器病の予防等の取組を推進すること。 近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病棟機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリニカルパスやICT（情報通信技術）の活用などにより地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて岐阜圏域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。 また、地域医療支援病院として、紹介率・逆紹介率の維持・向上に努めること。 さらに、円滑に在宅医療・介護へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。
	※ 重点的に取り組む医療	高度急性期医療、急性期医療、先進医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。 特に、「救急医療」、「心血管疾患医療」、「周産期医療」、「がん医療」及び「こども医療」を重点医療として位置付け、さらに充実・強化して高度で先進的な医療を提供すること。 周産期医療については、未熟児や重症妊産婦に対する高度な医療の提供等、総合周産期母子医療センターとしての機能を強化するとともに、胎児診断や胎児治療を実施すること。 がん医療については、高精度放射線治療装置の更新・拡充に加え、患者の就労支援等の充実により、拠点病院としての機能を強化すること。 また、こども医療については、小児救命救急センターの設置に向け、他病院との連携を強化し、必要な症例を確保するとともに、診療科を問わず全ての重篤な小児患者に対する救急医療の提供をするなど、拠点としての機能の一層の充実を図ること。 なお、ゲノム医療については、がんゲノム医療中核拠点病院である名古屋大学医学部附属病院を中心に地域の医療機関と協力しつつ、適切な医療体制を構築すること。

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由
01	※ より質の高い医療の提供 1 高度医療機器の計	2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保 ・看護師の確保については、年度途中の退職者を見込み年度当初に67人、年度途中4人採用することで、長時間勤務やローテーション維持等についての改善を図るとともに、診療報酬の要件である7:1看護体制を上回	1 高度医療機器の計画的な更新・整備 ・高額な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案するとともに、人材育成を見据えた視点から高度医療機器を整備し、先進的な医療の提供と質の向上を図った。	IV	医師、看護師の確保や看護師の資格取得体制及び入退院支援業務

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																																				
	画的な更新・整備 2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保 3 医師、看護師、コメディカル等の人材育成の充実 4 高度先端医療の推進 5 専門性を発揮したチーム医療の推進 6 ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）等の活用 7 入院支援の充実 8 医療事故防止等医療安全対策の充実 9 院内感染防止対策の充実	る体制を確保できた。 ・定年退職した医師を9人再雇用することで、人員の確保に努めた。 ○医療従事者の確保状況 単位：人 <table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>常勤医師</td><td>182</td><td>185</td><td>188</td><td>193</td><td>196</td></tr><tr><td>常勤歯科医師</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>常勤看護師</td><td>691</td><td>720</td><td>719</td><td>741</td><td>728</td></tr><tr><td>常勤コメディカル</td><td>254</td><td>265</td><td>278</td><td>283</td><td>289</td></tr><tr><td>ドクターズアシスタント</td><td>55</td><td>61</td><td>55</td><td>55</td><td>55</td></tr><tr><td>看護補助職員</td><td>96</td><td>95</td><td>93</td><td>100</td><td>99</td></tr></table> ※年度末現在 3 医師、看護師、コメディカル等の人材育成の充実 【医師】 ・高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図った。 ○医師の研修派遣・受入実績 単位：件 <table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>派遣</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>受入</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>2</td></tr></table> ○専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績 単位：件 <table><tr><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>563</td><td>730</td><td>817</td><td>748</td><td>726</td></tr></table> 【看護師】 ・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的に認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を確保した。また、看護師特定行為研修指定研修機関として、当センターの看護師に加え、外部の看護師も受け入れるなど、特定行為看護師を育成する役割を果たした。	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	常勤医師	182	185	188	193	196	常勤歯科医師	4	4	4	4	4	常勤看護師	691	720	719	741	728	常勤コメディカル	254	265	278	283	289	ドクターズアシスタント	55	61	55	55	55	看護補助職員	96	95	93	100	99	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	派遣	2	1	2	3	2	受入	3	3	4	5	2	R2	R3	R4	R5	R6	563	730	817	748	726	○代表的な更新・整備機器一覧 <table><tr><th>機器名等</th><th>金額</th><th>整備目的・用途等</th></tr><tr><td>人工心肺装置（大人用）</td><td>36 百万円</td><td>患者の心臓補助循環に使用</td></tr><tr><td>人工心肺装置（小人用）</td><td>50 百万円</td><td>患者の心臓補助循環に使用</td></tr><tr><td>検体検査総合搬送システム</td><td>290 百万円</td><td>検体搬送に使用</td></tr><tr><td>定位放射線治療装置</td><td>790 百万円</td><td>定位放射線治療に使用</td></tr></table> ※3千万円以上の高額機器（税抜） ○更新・整備を実施した機器の稼働件数 単位：件 <table><tr><th>機器名／年度</th><th>年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>磁気共鳴診断装置（R2.7稼働）</td><td>R2</td><td>3,879</td><td>5,765</td><td>5,981</td><td>6,050</td><td>6,131</td></tr><tr><td>手術部門・重症部門患者情報システム（R3.2稼働）</td><td>R2</td><td>常時</td><td>常時</td><td>常時</td><td>常時</td><td>常時</td></tr><tr><td>全身用X線CT装置（R3.2稼働）</td><td>R2</td><td>2,087</td><td>12,677</td><td>12,935</td><td>12,935</td><td>13,845</td></tr><tr><td>泌尿器X線透視装置（R3.2稼働）</td><td>R2</td><td>102</td><td>662</td><td>711</td><td>840</td><td>911</td></tr><tr><td>AI搭載型3D画像処理装置（R3.2稼働）</td><td>R2</td><td>129</td><td>2,165</td><td>3,145</td><td>3,606</td><td>3,620</td></tr><tr><td>乳房用X線撮影装置（R4.3稼働）</td><td>R3</td><td>—</td><td>0</td><td>3,156</td><td>4,207</td><td>4,378</td></tr><tr><td>重症系生体情報モニタ（R4.3稼働）</td><td>R3</td><td>—</td><td>常時</td><td>常時</td><td>常時</td><td>常時</td></tr><tr><td>人工透析装置システム</td><td>R3</td><td>—</td><td>0</td><td>常時</td><td>常時</td><td>常時</td></tr></table>	機器名等	金額	整備目的・用途等	人工心肺装置（大人用）	36 百万円	患者の心臓補助循環に使用	人工心肺装置（小人用）	50 百万円	患者の心臓補助循環に使用	検体検査総合搬送システム	290 百万円	検体搬送に使用	定位放射線治療装置	790 百万円	定位放射線治療に使用	機器名／年度	年度	R2	R3	R4	R5	R6	磁気共鳴診断装置（R2.7稼働）	R2	3,879	5,765	5,981	6,050	6,131	手術部門・重症部門患者情報システム（R3.2稼働）	R2	常時	常時	常時	常時	常時	全身用X線CT装置（R3.2稼働）	R2	2,087	12,677	12,935	12,935	13,845	泌尿器X線透視装置（R3.2稼働）	R2	102	662	711	840	911	AI搭載型3D画像処理装置（R3.2稼働）	R2	129	2,165	3,145	3,606	3,620	乳房用X線撮影装置（R4.3稼働）	R3	—	0	3,156	4,207	4,378	重症系生体情報モニタ（R4.3稼働）	R3	—	常時	常時	常時	常時	人工透析装置システム	R3	—	0	常時	常時	常時		の充実に加え、その他の項目も継続的な取組みができており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																				
常勤医師	182	185	188	193	196																																																																																																																																																				
常勤歯科医師	4	4	4	4	4																																																																																																																																																				
常勤看護師	691	720	719	741	728																																																																																																																																																				
常勤コメディカル	254	265	278	283	289																																																																																																																																																				
ドクターズアシスタント	55	61	55	55	55																																																																																																																																																				
看護補助職員	96	95	93	100	99																																																																																																																																																				
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																				
派遣	2	1	2	3	2																																																																																																																																																				
受入	3	3	4	5	2																																																																																																																																																				
R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																					
563	730	817	748	726																																																																																																																																																					
機器名等	金額	整備目的・用途等																																																																																																																																																							
人工心肺装置（大人用）	36 百万円	患者の心臓補助循環に使用																																																																																																																																																							
人工心肺装置（小人用）	50 百万円	患者の心臓補助循環に使用																																																																																																																																																							
検体検査総合搬送システム	290 百万円	検体搬送に使用																																																																																																																																																							
定位放射線治療装置	790 百万円	定位放射線治療に使用																																																																																																																																																							
機器名／年度	年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																			
磁気共鳴診断装置（R2.7稼働）	R2	3,879	5,765	5,981	6,050	6,131																																																																																																																																																			
手術部門・重症部門患者情報システム（R3.2稼働）	R2	常時	常時	常時	常時	常時																																																																																																																																																			
全身用X線CT装置（R3.2稼働）	R2	2,087	12,677	12,935	12,935	13,845																																																																																																																																																			
泌尿器X線透視装置（R3.2稼働）	R2	102	662	711	840	911																																																																																																																																																			
AI搭載型3D画像処理装置（R3.2稼働）	R2	129	2,165	3,145	3,606	3,620																																																																																																																																																			
乳房用X線撮影装置（R4.3稼働）	R3	—	0	3,156	4,207	4,378																																																																																																																																																			
重症系生体情報モニタ（R4.3稼働）	R3	—	常時	常時	常時	常時																																																																																																																																																			
人工透析装置システム	R3	—	0	常時	常時	常時																																																																																																																																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況					その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）							自己 評価	自己評価理由
		○認定看護師等資格取得者在籍状況 単位：人													
		項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6								
	認定	がん化学療法	3	3	3	3	3		(R4. 3稼働)						
		がん性疼痛	2	2	2	1	1		内視鏡手術支援 ロボット (R4. 12稼働)	R4	—	—	49	188	253
		感染管理	3	3	4	4	3		前立腺ナビゲー ションシステム (R5. 2稼働)	R4	—	—	0	145	193
		救急看護	2	2	2	2	2		X線TV装置 (R5. 5稼働)	R5	—	—	—	1,392	1,610
		小児救急	1	1	1	1	1		3D対応・移動型 X線透視診断装 置 (R6. 3稼働)	R5	—	—	—	0	135
		摂食・嚥下障害	1	1	2	2	2		高精度放射線治 療装置 (R6. 5稼働)	R6	—	—	—	0	3,933
		皮膚・排泄ケア	3	3	2	1	1		汎用放射線治療 装置 (R6. 10稼働)	R6	—	—	—	0	2,610
		新生児集中ケア	2	1	2	2	2		人工心肺装置 (大人用) (R6. 12稼働)	R6	—	—	—	—	2
		クリティカルケア	2	2	2	3	3		人工心肺装置 (小人用) (R6. 9稼働)	R6	—	—	—	—	59
		糖尿病看護	1	1	0	0	0		検体検査総合搬 送システム (R7. 1稼働)	R6	—	—	—	—	常時
		がん放射線療法看護	1	1	1	1	1		定位放射線治療 装置 (R7. 4稼働)	R6	—	—	—	—	0
		乳がん看護	1	1	1	1	1								
		認定看護管理者	2	3	3	3	3								
		慢性心不全	1	1	1	1	1								
		緩和ケア	1	1	1	1	1								
		認知症	2	2	2	2	2								
		脳卒中リハビリテー ション	1	1	1	1	1								
		手術看護	1	2	2	2	2								
		精神科看護	1	1	1	1	1								
	計		31	32	33	32	31								
	専門	小児看護	2	2	2	2	1								
		がん看護	1	1	0	1	1								
	計		3	3	2	3	2								
	特定 行為	創傷管理モデル	1	1	1	1	1								
		術中麻酔管理モデル	2	3	4	5	5								
		外科術後管理領域	0	2	6	9	9								
		呼吸関連・動脈血ガス関連					1								
		クリティカル					1								
		栄養及び水分関連					1								
	計		3	6	11	15	18								
		認定遺伝カウンセラー	0	1	1	1	1								
	合計		37	42	47	51	52								
									8 医療事故防止等医療安全対策の充実						
									・医療安全対策として、必要に応じてマニュアルの見直しを行うとともに、その遵守状況を把握し、マニュアルの運用遵守を徹底した。						
									・医療事故調査に当たっては、重大事故のみならず、すべての死亡例につ						
									いて医療安全部で検討し、必要があれば担当医等にヒアリングを実施し						
									ている。						
									・岐阜県医療事故調査等支援団体連絡協議会に参加し、医療事故の現状把						

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																																														
		○研修実績 <table><tr><th>項 目</th><th colspan="6">内 容</th></tr><tr><td rowspan="7">認定看護師</td><td colspan="6">【長期】 ・NP（診療看護師）</td></tr><tr><td colspan="6">【短期】 単位：人</td></tr><tr><td></td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>認定看護管 理者（1st）</td><td>0</td><td>4</td><td>2</td><td>8</td><td>8</td></tr><tr><td>認定看護管 理者（2nd）</td><td>0</td><td>1</td><td>3</td><td>0</td><td>3</td></tr><tr><td>認定看護管 理者（3rd）</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>医療安全研 修</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td><td>4</td></tr></table> 学会等参加 ・日本看護学会 ・日本看護協会研修 ・岐阜県看護協会研修 ・研修会、セミナー ・その他 看護学会等 <table><tr><td></td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>参加延べ数</td><td>270</td><td>224</td><td>402</td><td>163</td><td>484</td></tr></table>	項 目	内 容						認定看護師	【長期】 ・NP（診療看護師）						【短期】 単位：人							R2	R3	R4	R5	R6	認定看護管 理者（1st）	0	4	2	8	8	認定看護管 理者（2nd）	0	1	3	0	3	認定看護管 理者（3rd）	0	1	0	1	1	医療安全研 修	2	3	4	2	4		R2	R3	R4	R5	R6	参加延べ数	270	224	402	163	484	握と関係機関との情報共有を行った。 ・発生したインシデント・アクシデント事案については、医療安全管理委員会で検討したうえで、病棟会議や医療安全便りを通じて全職員に周知を図った。特に、重大事例につながる事案については、発生原因を明らかにし、再発防止とリスクを回避する方策を検討した。 ○インシデント・アクシデント報告数 単位：件 <table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>レベル0</td><td>754</td><td>830</td><td>646</td><td>604</td><td>599</td></tr><tr><td>レベル1</td><td>2,294</td><td>2,500</td><td>2,053</td><td>2,078</td><td>1,905</td></tr><tr><td>レベル2</td><td>504</td><td>542</td><td>484</td><td>502</td><td>545</td></tr><tr><td>レベル3 a</td><td>276</td><td>299</td><td>253</td><td>238</td><td>265</td></tr><tr><td>小計（インシデント）</td><td>3,828</td><td>4,171</td><td>3,436</td><td>3,422</td><td>3,314</td></tr><tr><td>レベル3b</td><td>87</td><td>112</td><td>83</td><td>72</td><td>76</td></tr><tr><td>レベル4</td><td>2</td><td>4</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>レベル5</td><td>5</td><td>6</td><td>2</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>その他（合併症等）</td><td>9</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>小計（アクシデント）</td><td>103</td><td>123</td><td>89</td><td>78</td><td>79</td></tr><tr><td>合計</td><td>3,931</td><td>4,294</td><td>3,525</td><td>3,500</td><td>3,393</td></tr><tr><td>合計（医師のみ）</td><td>178</td><td>218</td><td>150</td><td>162</td><td>162</td></tr></table> ・医療安全研修会は今年度も感染防止の観点からオンデマンドでの実施を継続し、多数の参加を得た。 ○医療安全研修会実施状況 <table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>実施回数</td><td>2 テーマ</td><td>3 テーマ</td><td>3 テーマ</td><td>3 テーマ</td><td>2 テーマ</td></tr><tr><td>参加延べ 人数</td><td>2,966 人</td><td>4,987 人</td><td>5,104 人</td><td>5,223 人</td><td>3,500 人</td></tr></table> ・また、医療安全に関するポスター掲示や毎月の医療安全標語により、さらなる安全意識の向上を図っている。 9 院内感染防止対策の充実 ・耐性菌の発生リスクが高い病棟（3W、3E、4W）は毎週、侵襲的な手術や	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	レベル0	754	830	646	604	599	レベル1	2,294	2,500	2,053	2,078	1,905	レベル2	504	542	484	502	545	レベル3 a	276	299	253	238	265	小計（インシデント）	3,828	4,171	3,436	3,422	3,314	レベル3b	87	112	83	72	76	レベル4	2	4	1	1	0	レベル5	5	6	2	3	2	その他（合併症等）	9	1	3	2	1	小計（アクシデント）	103	123	89	78	79	合計	3,931	4,294	3,525	3,500	3,393	合計（医師のみ）	178	218	150	162	162	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	実施回数	2 テーマ	3 テーマ	3 テーマ	3 テーマ	2 テーマ	参加延べ 人数	2,966 人	4,987 人	5,104 人	5,223 人	3,500 人		
項 目	内 容																																																																																																																																																																		
認定看護師	【長期】 ・NP（診療看護師）																																																																																																																																																																		
	【短期】 単位：人																																																																																																																																																																		
		R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																													
	認定看護管 理者（1st）	0	4	2	8	8																																																																																																																																																													
	認定看護管 理者（2nd）	0	1	3	0	3																																																																																																																																																													
	認定看護管 理者（3rd）	0	1	0	1	1																																																																																																																																																													
	医療安全研 修	2	3	4	2	4																																																																																																																																																													
	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																														
参加延べ数	270	224	402	163	484																																																																																																																																																														
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																														
レベル0	754	830	646	604	599																																																																																																																																																														
レベル1	2,294	2,500	2,053	2,078	1,905																																																																																																																																																														
レベル2	504	542	484	502	545																																																																																																																																																														
レベル3 a	276	299	253	238	265																																																																																																																																																														
小計（インシデント）	3,828	4,171	3,436	3,422	3,314																																																																																																																																																														
レベル3b	87	112	83	72	76																																																																																																																																																														
レベル4	2	4	1	1	0																																																																																																																																																														
レベル5	5	6	2	3	2																																																																																																																																																														
その他（合併症等）	9	1	3	2	1																																																																																																																																																														
小計（アクシデント）	103	123	89	78	79																																																																																																																																																														
合計	3,931	4,294	3,525	3,500	3,393																																																																																																																																																														
合計（医師のみ）	178	218	150	162	162																																																																																																																																																														
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																														
実施回数	2 テーマ	3 テーマ	3 テーマ	3 テーマ	2 テーマ																																																																																																																																																														
参加延べ 人数	2,966 人	4,987 人	5,104 人	5,223 人	3,500 人																																																																																																																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況						その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）						自己 評価	自己評価理由																																																																																																																										
		<table><tr><td>技師</td><td>病理部</td><td>20</td><td>30</td><td>38</td><td>41</td><td>55</td></tr><tr><td>臨床工学技士</td><td></td><td>4</td><td>9</td><td>12</td><td>27</td><td>23</td></tr><tr><td>リハビリ技師</td><td></td><td>42</td><td>31</td><td>52</td><td>53</td><td>55</td></tr><tr><td>管理栄養士</td><td></td><td>2</td><td>3</td><td>5</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>放射線技師</td><td></td><td>52</td><td>112</td><td>161</td><td>202</td><td>267</td></tr><tr><td>合計</td><td></td><td>398</td><td>520</td><td>668</td><td>745</td><td>846</td></tr></table> ○主な専門研修・講習会等 【中央放射線部】 ・日本放射線技術学会 ・全国自治体病院放射線部会研修会 ・日本放射線治療セミナー ・日本核医学学会総会 ・日本磁気共鳴医学会 ・医学物理士ミニマム講習会 ・診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会 ・業務拡大に伴う統一講習会 ・PET 研修セミナー ・医療安全管理者養成研修会 ・画像等手術支援認定講習会 ※主な資格取得者数（年度末） <table><tr><th>資格名／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>アドバンス診療放射線技師</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>6</td></tr><tr><td>放射線被曝相談員</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>4</td></tr><tr><td>X線CT認定技師</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>7</td><td>6</td></tr><tr><td>放射線機器管理士</td><td>3</td><td>3</td><td>5</td><td>11</td><td>12</td></tr><tr><td>放射線管理士</td><td>0</td><td>4</td><td>9</td><td>15</td><td>16</td></tr><tr><td>医療情報技師</td><td>－</td><td>－</td><td>1</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td></tr><tr><td>第1種放射線取扱主任者</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td></tr></table>	技師	病理部	20	30	38	41	55	臨床工学技士		4	9	12	27	23	リハビリ技師		42	31	52	53	55	管理栄養士		2	3	5	10	10	放射線技師		52	112	161	202	267	合計		398	520	668	745	846	資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6	アドバンス診療放射線技師	3	4	5	5	6	放射線被曝相談員	1	1	1	2	4	X線CT認定技師	5	5	5	7	6	放射線機器管理士	3	3	5	11	12	放射線管理士	0	4	9	15	16	医療情報技師	－	－	1	4	4	検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	5	6	7	7	7	第1種放射線取扱主任者	2	3	4	5	5	検査を行う部署については2ヶ月に1回、それ以外の病棟も巡回を行っていない月が無いように、ICT ラウンドを行った。指摘事項が改善されているかの確認は次のラウンド時に行った。 ・感染制御支援システムを活用し、耐性菌検出状況等から感染対策が必要な患者の把握を行うとともに、血液培養陽性患者を確認し、各部署における医療関連感染の発生状況を把握した。 ・感染症専門医やAST による抗菌薬の適正指導や、ICT による適切な手指衛生について指導を行っているが、手指消毒剤使用量は伸び悩み、新規 MRSA 検出数はやや増加がみられた。 ○手指衛生と MRSA 状況 <table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>手指消毒剤使用量（単位：L／1,000 患者）</td><td>45.1</td><td>43.0</td><td>39.2</td><td>37.3</td><td>36.4</td></tr><tr><td>入院のみ新規 MRSA 検出数</td><td>156</td><td>162</td><td>112</td><td>142</td><td>171</td></tr></table> ・感染防止研修会は今年度も感染防止の観点からオンデマンドでの実施を継続し、昨年度と同様に多数の参加を得た。 ○感染防止研修会実施状況 <table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>実施回数</td><td>2 テーマ</td><td>2 テーマ</td><td>2 テーマ</td><td>2 テーマ</td><td>2 テーマ</td></tr><tr><td>参加延べ人数</td><td>2,976 人</td><td>3,011 人</td><td>2,996 人</td><td>3,084 人</td><td>3,074 人</td></tr></table> ※参加延べ人数：委託職員を除いた集計数	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	手指消毒剤使用量（単位：L／1,000 患者）	45.1	43.0	39.2	37.3	36.4	入院のみ新規 MRSA 検出数	156	162	112	142	171	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	実施回数	2 テーマ	2 テーマ	2 テーマ	2 テーマ	2 テーマ	参加延べ人数	2,976 人	3,011 人	2,996 人	3,084 人	3,074 人		
技師	病理部	20	30	38	41	55																																																																																																																																			
臨床工学技士		4	9	12	27	23																																																																																																																																			
リハビリ技師		42	31	52	53	55																																																																																																																																			
管理栄養士		2	3	5	10	10																																																																																																																																			
放射線技師		52	112	161	202	267																																																																																																																																			
合計		398	520	668	745	846																																																																																																																																			
資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																				
アドバンス診療放射線技師	3	4	5	5	6																																																																																																																																				
放射線被曝相談員	1	1	1	2	4																																																																																																																																				
X線CT認定技師	5	5	5	7	6																																																																																																																																				
放射線機器管理士	3	3	5	11	12																																																																																																																																				
放射線管理士	0	4	9	15	16																																																																																																																																				
医療情報技師	－	－	1	4	4																																																																																																																																				
検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	5	6	7	7	7																																																																																																																																				
第1種放射線取扱主任者	2	3	4	5	5																																																																																																																																				
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																				
手指消毒剤使用量（単位：L／1,000 患者）	45.1	43.0	39.2	37.3	36.4																																																																																																																																				
入院のみ新規 MRSA 検出数	156	162	112	142	171																																																																																																																																				
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																				
実施回数	2 テーマ	2 テーマ	2 テーマ	2 テーマ	2 テーマ																																																																																																																																				
参加延べ人数	2,976 人	3,011 人	2,996 人	3,084 人	3,074 人																																																																																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況					その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）		自己 評価	自己評価理由																																									
		<table><tr><td>救急撮影認定技師</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>画像等手術支援認定 診療放射線技師</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>医療画像情報精度管 理士</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>2</td><td>2</td></tr></table>	救急撮影認定技師	2	3	3	4	4	画像等手術支援認定 診療放射線技師	-	-	-	2	2	医療画像情報精度管 理士	-	-	-	2	2	※令和6年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・アドバンス診療放射線技師 1名 ・放射線被曝相談員 2名 ・放射線機器管理士 1名 ・放射線管理士 1名																														
救急撮影認定技師	2	3	3	4	4																																														
画像等手術支援認定 診療放射線技師	-	-	-	2	2																																														
医療画像情報精度管 理士	-	-	-	2	2																																														
		【中央検査部】 ・日本臨床衛生検査技師会 ・日本超音波医学会 ・日本超音波検査学会 ・日本臨床微生物学会 ・日本臨床検査医学会 ・日本輸血・細胞治療学会 ・日本心エコー図学会 ・日本検査血液学会 ・岐阜県病院協会医学会 ・タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 ・病院中堅職員育成研修 ・日本臨床神経生理学学会 ・日本臨床一般検査学会 ・日本医療検査科学学会 ・岐阜県医学検査学会																																																	
		※主な資格取得者数（年度末）					単位：人																																												
		<table><tr><td>資格名／年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>超音波検査士（循環器）</td><td>8</td><td>8</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr><tr><td>超音波検査士（消化器）</td><td>10</td><td>13</td><td>10</td><td>11</td><td>11</td></tr><tr><td>超音波検査士（体表臓器）</td><td>3</td><td>4</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>超音波検査士（泌尿器）</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>超音波検査士（産婦人科）</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>超音波検査士（血管）</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td></tr></table>	資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6	超音波検査士（循環器）	8	8	7	8	9	超音波検査士（消化器）	10	13	10	11	11	超音波検査士（体表臓器）	3	4	3	3	4	超音波検査士（泌尿器）	1	1	0	0	0	超音波検査士（産婦人科）	1	1	1	0	0	超音波検査士（血管）	1	1	1	2	2							
資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																														
超音波検査士（循環器）	8	8	7	8	9																																														
超音波検査士（消化器）	10	13	10	11	11																																														
超音波検査士（体表臓器）	3	4	3	3	4																																														
超音波検査士（泌尿器）	1	1	0	0	0																																														
超音波検査士（産婦人科）	1	1	1	0	0																																														
超音波検査士（血管）	1	1	1	2	2																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況						その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由
		血管診療技師	1	1	1	2	2			
		乳房超音波技術試験	-	-	-	-	2			
		JHRS 認定心電図専門士	5	5	3	2	2			
		緊急臨床検査士	10	10	12	14	17			
		認定血液検査技師	2	2	3	3	4			
		認定臨床微生物検査技師	1	2	2	2	3			
		認定輸血検査技師	1	1	1	1	1			
		認定心電図検査技師	2	2	2	2	2			
		認定一般検査技師	1	1	1	2	1			
		心臓リハビリテーション 指導士	2	2	2	2	2			
		2級臨床検査士（微生物）	3	5	6	6	7			
		2級臨床検査士（循環器）	3	3	2	2	2			
		2級臨床検査士（神経生 理）	-	-	-	-	1			
		2級臨床検査士（免疫血 清）	0	0	1	1	1			
		感染制御認定臨床微生物 検査技師（ICMT）	1	2	2	2	3			
		医療安全管理者	1	2	1	3	3			
		臨床検査技師臨地実習指 導者	0	1	1	2	2			
		タスク・シフト／シェアに 関する厚生労働大臣認定	0	0	30	49	51			
		POCT 測定認定士	0	0	1	1	1			
		遺伝子分析化学認定士	1	1	1	1	1			
		日本糖尿病療養指導士	1	1	1	1	1			
		有機溶剤作業主任者	3	3	4	4	4			
		特定化学物質及び四アル キル鉛等作業主任者	-	-	-	-	3			
		岐阜県肝炎医療コーデ イナーター	0	1	1	1	16			
		精度管理責任者	0	0	1	2	1			

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況						その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）		自己 評価	自己評価理由																																			
		<table><tr><td>臨地実習指導者</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>品質管理検定</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>心電図検定1級</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>1</td></tr><tr><td>心電図検定2級</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>心電図検定3級</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>ゆうバックによる検体送付するための研修会</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>7</td></tr></table> ※令和6年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・超音波検査士（循環器） 1名 ・超音波検査士（体表臓器） 1名 ・乳房超音波技術試験 B判定 1名 ・緊急臨床検査士 3名 ・認定血液検査技師 1名 ・認定臨床微生物検査技師 1名 ・2級臨床検査士（微生物） 1名 ・2級臨床検査士（神経生理） 1名 ・感染制御認定臨床微生物検査技師（ICMT） 1名 ・タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣認定 2名 ・特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者 3名 ・岐阜県肝炎医療コーディネーター 15名 ・心電図検定1級 1名 ・心電図検定2級 1名 ・心電図検定3級 1名 ・ゆうバックによる検体送付するための研修会 7名	臨地実習指導者	0	1	1	2	2	品質管理検定	0	0	0	1	1	心電図検定1級	－	－	－	－	1	心電図検定2級	0	0	0	1	1	心電図検定3級	0	0	0	1	1	ゆうバックによる検体送付するための研修会	－	－	－	－	7								
臨地実習指導者	0	1	1	2	2																																									
品質管理検定	0	0	0	1	1																																									
心電図検定1級	－	－	－	－	1																																									
心電図検定2級	0	0	0	1	1																																									
心電図検定3級	0	0	0	1	1																																									
ゆうバックによる検体送付するための研修会	－	－	－	－	7																																									
		【病理部】 ・日本臨床衛生検査技師会 ・日本臨床細胞学会 ・認定病理検査技師講習会 ・日本遺伝カウンセリング学会 ・日本人類遺伝学会 ・日本認定遺伝カウンセラー協会 ※主な資格取得者数（年度末） <table><tr><td>資格名／年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>認定病理検査技師</td><td>3</td><td>6</td><td>6</td><td>7</td><td>7</td></tr></table>	資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6	認定病理検査技師	3	6	6	7	7																																
資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																									
認定病理検査技師	3	6	6	7	7																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況						その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）			自己 評価	自己評価理由																																						
		<table><tr><td>細胞検査士</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>7</td><td>7</td></tr><tr><td>2級臨床検査士（病理学）</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>検体採取等の講習会修了者</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>8</td><td>8</td></tr><tr><td>タスク・シフト／シェアに 関する厚生労働大臣認定</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>3</td></tr><tr><td>がんゲノム医療コーディネーター</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>1</td></tr></table> ※令和6年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣認定 3名 ・がんゲノム医療コーディネーター 1名 【薬剤部】 ・日本医療薬学会年会 ・日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会 ・全日本自治体病院学会 ・日本麻酔科学会 周術期管理チームセミナー ・岐阜県病院薬剤師会研修会 ・岐阜県病院協会医学会 ・東海薬剤師学術大会 ・日本小児臨床薬理学会 ・日本腎臓病薬物療法学会 ・日本緩和医療薬学会 ・日本腎臓学会 ・日本化学療法学会 ・日本臨床救急医学会 ・日本病院会病院中継職員教育研修 ・感染制御専門薬剤師講習会 ・妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会 ・妊婦・授乳婦専門薬剤師養成研修会 ・日本栄養治療学会 ・日本医薬品情報学会 ・がん専門薬剤師集中教育講座 ・日本臨床腫瘍薬学会 ※主な資格取得者数（年度末） <table><tr><td>資格名／年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>感染制御認定薬剤師</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr></table>	細胞検査士	8	8	8	7	7	2級臨床検査士（病理学）	1	1	1	1	1	検体採取等の講習会修了者	6	6	6	8	8	タスク・シフト／シェアに 関する厚生労働大臣認定	-	-	-	-	3	がんゲノム医療コーディネーター	-	-	-	-	1	資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6	感染制御認定薬剤師	2	2	2	3	3						
細胞検査士	8	8	8	7	7																																													
2級臨床検査士（病理学）	1	1	1	1	1																																													
検体採取等の講習会修了者	6	6	6	8	8																																													
タスク・シフト／シェアに 関する厚生労働大臣認定	-	-	-	-	3																																													
がんゲノム医療コーディネーター	-	-	-	-	1																																													
資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																													
感染制御認定薬剤師	2	2	2	3	3																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況					その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）					自己 評価	自己評価理由																																																																																					
		<table><tr><td>抗菌化学療法認定薬剤師</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>6</td></tr><tr><td>日病薬 病院薬学認定薬剤師</td><td>21</td><td>28</td><td>27</td><td>29</td><td>33</td></tr><tr><td>がん専門薬剤師</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>がん指導薬剤師</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>緩和薬物療法認定薬剤師</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>日本糖尿病療養指導士</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>周術期管理チーム認定薬剤師</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>外来がん治療認定薬剤師</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>腎臓病薬物療法認定薬剤師</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>腎臓病療養指導士</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>小児薬物療法認定薬剤師</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>救急認定薬剤師</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>NST 専門療法士</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>心不全療養指導士</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>	抗菌化学療法認定薬剤師	2	2	3	4	6	日病薬 病院薬学認定薬剤師	21	28	27	29	33	がん専門薬剤師	2	3	3	3	4	がん指導薬剤師	0	0	0	1	1	緩和薬物療法認定薬剤師	1	1	2	2	2	日本糖尿病療養指導士	5	5	5	4	5	周術期管理チーム認定薬剤師	2	2	2	3	3	外来がん治療認定薬剤師	1	1	2	1	1	腎臓病薬物療法認定薬剤師	0	0	1	1	1	腎臓病療養指導士	2	2	2	2	2	小児薬物療法認定薬剤師	2	2	2	2	2	救急認定薬剤師	1	1	1	2	2	NST 専門療法士	1	1	2	2	2	心不全療養指導士	1	1	1	1	1	※令和6年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・抗菌化学療法認定薬剤師 2名 ・病院薬学認定薬剤師 4名 ・がん専門薬剤師 1名 ・日本糖尿病療養指導士 1名											
抗菌化学療法認定薬剤師	2	2	3	4	6																																																																																													
日病薬 病院薬学認定薬剤師	21	28	27	29	33																																																																																													
がん専門薬剤師	2	3	3	3	4																																																																																													
がん指導薬剤師	0	0	0	1	1																																																																																													
緩和薬物療法認定薬剤師	1	1	2	2	2																																																																																													
日本糖尿病療養指導士	5	5	5	4	5																																																																																													
周術期管理チーム認定薬剤師	2	2	2	3	3																																																																																													
外来がん治療認定薬剤師	1	1	2	1	1																																																																																													
腎臓病薬物療法認定薬剤師	0	0	1	1	1																																																																																													
腎臓病療養指導士	2	2	2	2	2																																																																																													
小児薬物療法認定薬剤師	2	2	2	2	2																																																																																													
救急認定薬剤師	1	1	1	2	2																																																																																													
NST 専門療法士	1	1	2	2	2																																																																																													
心不全療養指導士	1	1	1	1	1																																																																																													
		【中央リハビリテーション部】 ・日本ハンドセラピー学会 ・日本理学療法学会 ・日本集中治療医学会 ・日本呼吸ケアリハビリテーション学会 ・日本心臓リハビリテーション学会																																																																																																
		※主な資格取得者数（年度末）					単位：人																																																																																											
		<table><tr><td>資格名／年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>3学会合同呼吸療法認定士</td><td>25</td><td>29</td><td>33</td><td>33</td><td>35</td></tr><tr><td>心臓リハビリテーション指導士</td><td>3</td><td>6</td><td>7</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td>認定理学療法士</td><td>4</td><td>8</td><td>8</td><td>7</td><td>7</td></tr><tr><td>心不全療養指導士</td><td>1</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>5</td></tr></table>	資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6	3学会合同呼吸療法認定士	25	29	33	33	35	心臓リハビリテーション指導士	3	6	7	6	7	認定理学療法士	4	8	8	7	7	心不全療養指導士	1	4	4	4	5																																																																		
資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																													
3学会合同呼吸療法認定士	25	29	33	33	35																																																																																													
心臓リハビリテーション指導士	3	6	7	6	7																																																																																													
認定理学療法士	4	8	8	7	7																																																																																													
心不全療養指導士	1	4	4	4	5																																																																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																	
		<table><tr><td>日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>LSVT®資格認定</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>公認心理士</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>認定ハンドセラピスト</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table> ※令和6年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・3学会合同呼吸療法認定士 2名 ・認定理学療法士 1名 ・心不全療養指導士 1名 ・認定ハンドセラピスト 1名 【栄養部】 ・全国自治体病院学会 ・岐阜県病院協会医学会 ・日本心臓リハビリ学会学術集会 ・日本臨床栄養代謝学会 ・日本病態栄養学会年次学術集会 ・がん専門管理栄養士セミナー ※主な資格取得者数（年度末） 単位：人 <table><tr><td>資格名／年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>NST 専門療法士</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td></tr><tr><td>糖尿病療養指導士</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td></tr><tr><td>病態栄養専門管理栄養士</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>がん病態栄養専門管理栄養士</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>心臓リハビリテーション指導士</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>アレルギー疾患療養指導士</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr></table> ※令和6年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・病態栄養専門管理栄養士 1名 【臨床工学部】 ・日本臨床工学技士会 ・岐阜県臨床工学技士会 ・日本心血管インターベンション治療学会 ・日本不整脈心電学会	日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	1	1	1	1	1	LSVT®資格認定	1	1	2	2	2	公認心理士	0	0	1	1	1	認定ハンドセラピスト	0	0	1	1	1	資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6	NST 専門療法士	3	4	5	5	5	糖尿病療養指導士	5	5	5	5	5	病態栄養専門管理栄養士	4	4	4	4	5	がん病態栄養専門管理栄養士	2	2	2	2	2	心臓リハビリテーション指導士	1	1	1	1	1	アレルギー疾患療養指導士	0	2	2	2	2		
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	1	1	1	1	1																																																																	
LSVT®資格認定	1	1	2	2	2																																																																	
公認心理士	0	0	1	1	1																																																																	
認定ハンドセラピスト	0	0	1	1	1																																																																	
資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																	
NST 専門療法士	3	4	5	5	5																																																																	
糖尿病療養指導士	5	5	5	5	5																																																																	
病態栄養専門管理栄養士	4	4	4	4	5																																																																	
がん病態栄養専門管理栄養士	2	2	2	2	2																																																																	
心臓リハビリテーション指導士	1	1	1	1	1																																																																	
アレルギー疾患療養指導士	0	2	2	2	2																																																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																																																
		・日本透析医学会 ・日本人工臓器学会教育セミナー ※主な資格取得者数（年度末）単位：人 <table><thead><tr><th>資格名／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr></thead><tbody><tr><td>体外循環技術認定士</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>8</td></tr><tr><td>透析技術認定士</td><td>4</td><td>4</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td></tr><tr><td>呼吸療法認定士</td><td>4</td><td>6</td><td>6</td><td>5</td><td>5</td></tr><tr><td>不整脈治療関連専門臨床 工学技士</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>認定集中治療関連臨床工 学技士</td><td>0</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td></tr><tr><td>植込み型心臓デバイス認 定士</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>心血管インターベンショ ン技師</td><td>0</td><td>5</td><td>6</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td>第一種ME 技術者</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>医療機器情報コミュニケ ーター（MDIC）</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>認定ホスピタルエンジニ ア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>ICLS 認定インストラクター</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>AHA-BLS プロバイダーコース</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>AHA-ACLS プロバイダーコ ース</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>心・血管カテーテル関連専 門臨床工学技士</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>日本アフェレイシス学会 認定技士</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>1</td></tr></tbody></table> ※令和6年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・体外循環技術認定士 3人 ・認定集中治療関連臨床工学技士 1人 ・植込み型心臓デバイス認定士 1人 ・心血管インターベンション技師 1人 ・日本アフェレイシス学会認定技士 1人	資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6	体外循環技術認定士	5	5	5	5	8	透析技術認定士	4	4	5	5	5	呼吸療法認定士	4	6	6	5	5	不整脈治療関連専門臨床 工学技士	0	1	1	1	1	認定集中治療関連臨床工 学技士	0	2	3	3	4	植込み型心臓デバイス認 定士	0	1	1	1	2	心血管インターベンショ ン技師	0	5	6	6	7	第一種ME 技術者	0	1	1	1	1	医療機器情報コミュニケ ーター（MDIC）	1	2	2	2	2	認定ホスピタルエンジニ ア	1	1	1	1	1	ICLS 認定インストラクター	1	1	1	1	1	AHA-BLS プロバイダーコース	4	4	4	4	4	AHA-ACLS プロバイダーコ ース	4	4	4	4	4	心・血管カテーテル関連専 門臨床工学技士	0	0	0	1	1	日本アフェレイシス学会 認定技士	-	-	-	-	1			
資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																
体外循環技術認定士	5	5	5	5	8																																																																																																
透析技術認定士	4	4	5	5	5																																																																																																
呼吸療法認定士	4	6	6	5	5																																																																																																
不整脈治療関連専門臨床 工学技士	0	1	1	1	1																																																																																																
認定集中治療関連臨床工 学技士	0	2	3	3	4																																																																																																
植込み型心臓デバイス認 定士	0	1	1	1	2																																																																																																
心血管インターベンショ ン技師	0	5	6	6	7																																																																																																
第一種ME 技術者	0	1	1	1	1																																																																																																
医療機器情報コミュニケ ーター（MDIC）	1	2	2	2	2																																																																																																
認定ホスピタルエンジニ ア	1	1	1	1	1																																																																																																
ICLS 認定インストラクター	1	1	1	1	1																																																																																																
AHA-BLS プロバイダーコース	4	4	4	4	4																																																																																																
AHA-ACLS プロバイダーコ ース	4	4	4	4	4																																																																																																
心・血管カテーテル関連専 門臨床工学技士	0	0	0	1	1																																																																																																
日本アフェレイシス学会 認定技士	-	-	-	-	1																																																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																
		【事務局】 ・日本医療ソーシャルワーカー協会 ・岐阜県ソーシャルワーカー協会 ・日本社会福祉士会 ・岐阜県社会福祉士会 ・救急認定ソーシャルワーカー認定機構 ※主な資格取得者数（年度末） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格名／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん相談支援センター相談員基礎研修1・2</td><td>9</td><td>10</td><td>10</td><td>13</td><td>15</td></tr> <tr> <td>がん相談支援センター相談員基礎研修3</td><td>5</td><td>5</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr> <td>救急認定ソーシャルワーカー</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr> <td>肝炎医療コーディネーター</td><td>6</td><td>8</td><td>8</td><td>11</td><td>14</td></tr> <tr> <td>医療メディエーター</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td><td>6</td></tr> </tbody> </table> ※令和6年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・肝炎医療コーディネーター 3名 ・医療メディエーター 2名 4 高度先端医療の推進 ・高度先端医療等新しい医療技術を実施するため、新たに下記の施設認定を取得した。 ＜施設認定名称＞ ・NPT 連携施設（もりレディースクラブクリニック） ・経皮的心房中隔欠損閉鎖術実施設認定 ・外科系学会社会保険委員会連合が指定した高難度手術（D、E 難度）や遺伝子検査を積極的に実施し、高度先端医療を推進した。 ○高度先端医療の実施状況 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D、E 難度手術実施数</td><td>4,850</td><td>5,263</td><td>5,149</td><td>5,437</td><td>5,558</td></tr> </tbody> </table>	資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6	がん相談支援センター相談員基礎研修1・2	9	10	10	13	15	がん相談支援センター相談員基礎研修3	5	5	6	6	6	救急認定ソーシャルワーカー	0	1	1	1	1	肝炎医療コーディネーター	6	8	8	11	14	医療メディエーター	2	2	2	4	6	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	D、E 難度手術実施数	4,850	5,263	5,149	5,437	5,558			
資格名／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																
がん相談支援センター相談員基礎研修1・2	9	10	10	13	15																																																
がん相談支援センター相談員基礎研修3	5	5	6	6	6																																																
救急認定ソーシャルワーカー	0	1	1	1	1																																																
肝炎医療コーディネーター	6	8	8	11	14																																																
医療メディエーター	2	2	2	4	6																																																
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																
D、E 難度手術実施数	4,850	5,263	5,149	5,437	5,558																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策 (●)	自己 評価	自己評価理由																																																																		
		<table border="1"> <tr> <td>遺伝子検査実施数</td><td>809</td><td>1,211</td><td>1,398</td><td>1,310</td><td>1,480</td></tr> </table> ※遺伝子検査：D004-21、D006-2～20、D006-22～30に該当する検査 5 専門性を発揮したチーム医療の推進 - 異なる職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することにより、治療やケアに当たることができた。 ＜主な医療チーム＞ ICT、緩和ケアチーム、呼吸器ケアチーム、褥瘡ケアチーム、 口腔ケアチーム、NST、摂食嚥下チーム、認知症ケアチーム、AST、早期 離床リハビリテーションチーム、心不全チーム、排尿自立ケアチーム、 術後疼痛管理チーム、腎不全チーム、身体拘束最小化チーム、AYA 世代 サポートチーム ○各種チーム加算算定数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア診療加算</td><td>1,221</td><td>1,148</td><td>1,406</td><td>1,783</td><td>1,410</td></tr> <tr> <td>呼吸ケアチーム加算</td><td>16</td><td>26</td><td>7</td><td>4</td><td>12</td></tr> <tr> <td>褥瘡ハイリスク患者ケア 加算</td><td>2,101</td><td>2,545</td><td>2,442</td><td>1,738</td><td>1,106</td></tr> <tr> <td>栄養サポートチーム加算</td><td>951</td><td>988</td><td>892</td><td>1,086</td><td>1,064</td></tr> <tr> <td>認知症ケア加算</td><td>1,176</td><td>1,331</td><td>1,292</td><td>986</td><td>1,351</td></tr> <tr> <td>早期離床リハビリテーシ ョン加算</td><td>999</td><td>1,313</td><td>1,347</td><td>1,224</td><td>1,442</td></tr> <tr> <td>排尿自立支援加算 (外来排尿自立指導料)</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>22</td></tr> <tr> <td>術後疼痛管理チーム加算</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>395</td><td>1,230</td></tr> <tr> <td>慢性腎臓病透析予防指導 管理料</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>76</td></tr> </tbody> </table> 6 ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）等の活用 - 平成29年度及び平成30年度に整備した遠隔画像コンサルテーションシステムを積極的に活用し、準夜帯及び深夜帯の院内専門医不在時における画像コンサルテーションを、外部の放射線専門医に依頼することにより、安全かつ質の高い医療を提供した。令和6年度は3,346件のCT・MRI検査画像のコンサルテーション依頼を行った。	遺伝子検査実施数	809	1,211	1,398	1,310	1,480	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	緩和ケア診療加算	1,221	1,148	1,406	1,783	1,410	呼吸ケアチーム加算	16	26	7	4	12	褥瘡ハイリスク患者ケア 加算	2,101	2,545	2,442	1,738	1,106	栄養サポートチーム加算	951	988	892	1,086	1,064	認知症ケア加算	1,176	1,331	1,292	986	1,351	早期離床リハビリテーシ ョン加算	999	1,313	1,347	1,224	1,442	排尿自立支援加算 (外来排尿自立指導料)	0	0	0	0	22	術後疼痛管理チーム加算	0	0	0	395	1,230	慢性腎臓病透析予防指導 管理料	0	0	0	0	76			
遺伝子検査実施数	809	1,211	1,398	1,310	1,480																																																																		
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																		
緩和ケア診療加算	1,221	1,148	1,406	1,783	1,410																																																																		
呼吸ケアチーム加算	16	26	7	4	12																																																																		
褥瘡ハイリスク患者ケア 加算	2,101	2,545	2,442	1,738	1,106																																																																		
栄養サポートチーム加算	951	988	892	1,086	1,064																																																																		
認知症ケア加算	1,176	1,331	1,292	986	1,351																																																																		
早期離床リハビリテーシ ョン加算	999	1,313	1,347	1,224	1,442																																																																		
排尿自立支援加算 (外来排尿自立指導料)	0	0	0	0	22																																																																		
術後疼痛管理チーム加算	0	0	0	395	1,230																																																																		
慢性腎臓病透析予防指導 管理料	0	0	0	0	76																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策 (●)	自己 評価	自己評価理由																																				
		○救急の外部コンサルテーション依頼数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td><td>3,091</td><td>3,271</td><td>3,321</td><td>3,203</td><td>3,178</td></tr> <tr> <td>MRI</td><td>412</td><td>372</td><td>390</td><td>315</td><td>268</td></tr> </tbody> </table> ・電子カルテシステム等の更新に合わせて導入した放射線画像AI診断システムについて、胸部X線画像において全診療科での活用を実施し、医師の負担軽減および質の高い医療の提供を実現した。 ・国が推進する医療DXへの対応については、電子処方箋の運用を令和6年7月より開始し、患者への質の高い医療の提供に取り組んだ。また、患者の利便性向上が期待できるマイナ保険証やマイナ診察券についても運用を開始し、利用促進に努めた。 7 入退院支援の充実 ・入院支援から退院支援への情報共有を図り、患者に継続した支援が実施できるように業務改善した。 ・退院支援における患者支援の方法も検討し、安心して退院できるよう業務改善した。予定入院する患者の入院当日の面談、入院支援室看護師からの事前の情報共有、病棟カンファレンスへの入院支援室・退院支援室・外来看護師の参加、さらに緊急入院となった患者への面談を確実に実施するようにした。 ・新生児特定集中治療室に入院した患者に対する入退院支援に関する評価である入退院支援加算3を算定する体制を継続した。昨年度に比べて算定数の向上が見られ、加算算定における取組みは定着していると考えられる。 ・入退院支援加算1については算定数は向上しつつあるが、さらなる向上を目指して2月からWGを立ち上げた。算定対象者の検討をし、病棟主体の体制を整え、算定数向上に向けて取り組んでいるところである。 ○入退院支援業務の実施状況 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院時支援介入数</td><td>879</td><td>2,706</td><td>3,472</td><td>3,601</td><td>4,025</td></tr> <tr> <td>入退院支援加算1 算定数</td><td>2,208</td><td>2,897</td><td>3,906</td><td>6,116</td><td>6,356</td></tr> </tbody> </table>	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	CT	3,091	3,271	3,321	3,203	3,178	MRI	412	372	390	315	268	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	入院時支援介入数	879	2,706	3,472	3,601	4,025	入退院支援加算1 算定数	2,208	2,897	3,906	6,116	6,356			
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																				
CT	3,091	3,271	3,321	3,203	3,178																																				
MRI	412	372	390	315	268																																				
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																				
入院時支援介入数	879	2,706	3,472	3,601	4,025																																				
入退院支援加算1 算定数	2,208	2,897	3,906	6,116	6,356																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況						その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）						自己 評価	自己評価理由
		入院時支援加算 算定数	162	302	1,262	1,984	2,203								
		入退院支援加算3 算定数	—	—	—	36	86								
02	※ 患者・住民サービスの の向上 1 待ち時間の改善等 2 院内環境の快適性の の向上 3 医療に関する相談 体制の充実 4 外国人に配慮した 受診支援 5 患者中心の医療の 提供及び患者満足度 の向上 6 インフォームド・コン センツの徹底及び セカンドオピニオンの 推進 7 病院運営に関する 情報発信及び意見の 反映	1 待ち時間の改善等 ＜外来部門＞ ・検査・診察・治療を患者に合わせたきめ細かい対応を行うことによって、 院内滞在時間の縮減を図る取組みを継続した。 ・検査が必要な患者に対しては検査を先に実施 ・看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明 を待ち時間に実施 ・入院患者に対する説明の一元化 ・病診連携による紹介患者については、診察予約時間30分 以内の診察を徹底 ・待ち時間の有効活用に向けた取組みを継続した。 ・患者向け通院支援アプリの活用により、診察待ち時間の 負担を軽減 ・待ち時間に待合場所を離れる患者に対して、希望により携 帯電話による呼び出しを実施 ・診療科に即したパンフレットや図書を配置 ・患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施するとともに、システム による待ち時間の把握を年4回実施し、状況の把握に努めた。調査の 結果、患者満足度調査での平均待ち時間、システムによる待ち時間とも に減る傾向となった。マイナ保険証の活用による保険確認の簡素化や通 院支援アプリの有効活用等が待ち時間の減少に寄与したものと思われ る。 ○患者満足度調査による平均待ち時間													

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由
		○システムによる待ち時間別患者構成率			

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由
		・毎週月曜日にカンファレンスを開催し、医療相談に係る問題事項についての協議を行った。患者等からの苦情については主治医や関係職種との情報共有を行い対応した。 ○カンファレンスで協議した事項及び件数			

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況						その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）		自己 評価	自己評価理由			
		<table><tr><td>合計</td><td>1,098</td><td>1,084</td><td>984</td><td>862</td><td>1,039</td><td></td></tr></table> ○医療通訳ボランティア派遣依頼件数						合計	1,098	1,084	984	862	1,039	
合計	1,098	1,084	984	862	1,039									

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策 (●)	自己 評価	自己評価理由																																																																		
		・患者満足度調査の結果、5段階評価で「満足」と「やや満足」の割合は、外来は80.4%、入院は93.2%となり、ともに目標を達成できた。 ○患者満足度調査満足割合 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来</td><td>85.8</td><td>81.9</td><td>83.2</td><td>79.5</td><td>80.4</td></tr> <tr> <td>入院</td><td>91.5</td><td>93.9</td><td>91.2</td><td>94.9</td><td>93.2</td></tr> </tbody> </table>	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	外来	85.8	81.9	83.2	79.5	80.4	入院	91.5	93.9	91.2	94.9	93.2																																																			
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																		
外来	85.8	81.9	83.2	79.5	80.4																																																																		
入院	91.5	93.9	91.2	94.9	93.2																																																																		
03	※ 診療体制の充実 1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 2 多様な専門職の積極的な活用	1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・患者動向や医療需要の変化に対応した組織改編等に積極的に取り組んだことにより、患者に対してよりきめ細やかなサービスを提供することができた。新たな診療部門の設置や需要に対応するため医療支援部門の新設・再編等、将来を見据えた診療体制の充実を図った。 ○組織・診療科等の新設等 【診療部門】 ・「術後疼痛管理部」の新設 【医療支援部門】 ・「放射線治療品質管理担当」の新設 ・「NP（ナース・プラクティショナー）部」の新設	2 多様な専門職の積極的な活用 ・年俸制による雇用制度を活用し、高度な専門性を有する医師を引き続き登用した。 年俸制医師 R2：7人→R3：7人→R4：7人→R5：7人→R6：8人 ・職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医療従事者を再雇用し、更なる充実を図った。 ○職種別再雇用職員数 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>9</td></tr> <tr> <td>看護師</td><td>7</td><td>7</td><td>12</td><td>14</td><td>15</td></tr> <tr> <td>診療放射線技師</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr> <td>臨床検査技師</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr> <td>薬剤師</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr> <td>管理栄養士</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>理学療法士</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr> <td>臨床心理士</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr> <td>臨床工学技士</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>1</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>20</td><td>19</td><td>25</td><td>27</td><td>32</td></tr> </tbody> </table>	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	医師	7	7	7	7	9	看護師	7	7	12	14	15	診療放射線技師	3	2	2	2	3	臨床検査技師	1	1	2	1	1	薬剤師	1	0	0	1	1	管理栄養士	1	0	0	0	0	理学療法士	0	1	1	1	1	臨床心理士	0	1	1	1	1	臨床工学技士	－	－	－	－	1	合計	20	19	25	27	32	IV	将来の需要を見据えた新たな部門の設置に加え、業務の専門性に応じた柔軟な雇用ができており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																		
医師	7	7	7	7	9																																																																		
看護師	7	7	12	14	15																																																																		
診療放射線技師	3	2	2	2	3																																																																		
臨床検査技師	1	1	2	1	1																																																																		
薬剤師	1	0	0	1	1																																																																		
管理栄養士	1	0	0	0	0																																																																		
理学療法士	0	1	1	1	1																																																																		
臨床心理士	0	1	1	1	1																																																																		
臨床工学技士	－	－	－	－	1																																																																		
合計	20	19	25	27	32																																																																		
04	※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上 ・紹介率・逆紹介率について、年度計画（紹介率75%以上、逆紹介率95%以上）の目標に対して紹介率・逆紹介率ともに達成できた。「かかりつけ	2 地域連携パスの整備普及 ・地域連携パスに関する院内への周知、定期的なモニタリングを行うとともに、院内外の相談窓口として連絡調整を行った。 ・地域医師会や岐阜大学医学部附属病院による地域連携パスに係る学習	IV	地域連携パスの適用数がやや伸び悩んでいるが、紹介率、逆																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																																																																																																																
	1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上 2 地域連携パスの整備普及 3 疾病予防の推進 4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献 5 岐阜医療圏地域コンソーシアムの活用	「紹介窓口」を一部の外来から開始し、外来患者の逆紹介につなげた。 ○紹介率・逆紹介率 単位：％<table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>紹介率</td><td>70.0</td><td>71.9</td><td>67.2</td><td>74.3</td><td>78.3</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>97.6</td><td>110.5</td><td>107.9</td><td>111.2</td><td>114.2</td></tr></table> ・転院先となる医療機関等への訪問件数は、地域医療連携部の協力のもと増加した。 ○医療機関への訪問件数 単位：件<table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>転院先</td><td>4</td><td>1</td><td>0</td><td>22</td><td>19</td></tr><tr><td>開業医</td><td>16</td><td>41</td><td>45</td><td>149</td><td>250</td></tr></table> ○連携関連件数 単位：件<table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>紹介患者数</td><td>13,139</td><td>13,837</td><td>14,120</td><td>14,535</td><td>14,695</td></tr><tr><td>逆紹介患者数</td><td>18,330</td><td>21,249</td><td>22,670</td><td>21,754</td><td>21,432</td></tr><tr><td>転院患者数</td><td>1,177</td><td>1,140</td><td>1,016</td><td>1,043</td><td>1,176</td></tr></table> ○退院調整件数 単位：件<table><tr><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>1,802</td><td>1,839</td><td>1,835</td><td>1,845</td><td>1,927</td></tr></table> ・開放型病床登録医療機関及び登録医師数の拡大を目指し、新規に開設した医療機関に対する働きかけを行った。結果、医療機関数、医師の登録数ともに増加した。 ○開放型病床登録数<table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>医療機関数</td><td>416</td><td>433</td><td>406</td><td>435</td><td>444</td></tr><tr><td>医師数</td><td>531</td><td>550</td><td>570</td><td>580</td><td>617</td></tr></table> ・医療機関からの外来予約について、WEBを活用した受付を全診療科で実施	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	紹介率	70.0	71.9	67.2	74.3	78.3	逆紹介率	97.6	110.5	107.9	111.2	114.2	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	転院先	4	1	0	22	19	開業医	16	41	45	149	250	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	紹介患者数	13,139	13,837	14,120	14,535	14,695	逆紹介患者数	18,330	21,249	22,670	21,754	21,432	転院患者数	1,177	1,140	1,016	1,043	1,176	R2	R3	R4	R5	R6	1,802	1,839	1,835	1,845	1,927	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	医療機関数	416	433	406	435	444	医師数	531	550	570	580	617	会を開催した。 ・地域連携パスの院内での普及を進めており、現在17種類の運用を行っている。しかし、パスの更新がされていないことにより現状に合わないケースがあり、運用件数が減少している。 ○地域連携パスの新規適用実績 単位：件<table><tr><th>連携パス名</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>急性心筋梗塞</td><td>62</td><td>69</td><td>44</td><td>20</td><td>15</td></tr><tr><td>大腿骨頸部骨折</td><td>132</td><td>124</td><td>121</td><td>115</td><td>115</td></tr><tr><td>脳卒中</td><td>313</td><td>255</td><td>318</td><td>253</td><td>279</td></tr><tr><td>胃がん</td><td>30</td><td>45</td><td>30</td><td>22</td><td>35</td></tr><tr><td>肝がん</td><td>1</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>大腸がん</td><td>72</td><td>70</td><td>43</td><td>45</td><td>69</td></tr><tr><td>乳がん</td><td>82</td><td>40</td><td>48</td><td>38</td><td>35</td></tr><tr><td>肝炎</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>肺がん</td><td>16</td><td>9</td><td>22</td><td>14</td><td>18</td></tr><tr><td>糖尿病</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>COPD</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td><td>0</td><td>5</td></tr><tr><td>CKD</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>PSA</td><td>21</td><td>14</td><td>22</td><td>8</td><td>8</td></tr><tr><td>前立腺がん</td><td>33</td><td>29</td><td>31</td><td>17</td><td>10</td></tr><tr><td>尿路上皮がん</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>サポートパス</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>心不全</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>合計</td><td>766</td><td>658</td><td>683</td><td>533</td><td>590</td></tr></table> 3 疾病予防の推進 ・糖尿病患者に対する栄養指導を積極的に実施した結果、糖尿病患者に対する実施率はやや減少したが、9割程度の高い数値を維持できた。心不全患者に対しては患者の高齢化に伴い患者本人への指導が困難な中、実施率は昨年度をやや上回った。 ○各疾患に対する栄養指導実施率 単位：％<table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr></table>	連携パス名	R2	R3	R4	R5	R6	急性心筋梗塞	62	69	44	20	15	大腿骨頸部骨折	132	124	121	115	115	脳卒中	313	255	318	253	279	胃がん	30	45	30	22	35	肝がん	1	2	0	0	0	大腸がん	72	70	43	45	69	乳がん	82	40	48	38	35	肝炎	1	0	0	0	0	肺がん	16	9	22	14	18	糖尿病	1	1	2	1	1	COPD	1	0	2	0	5	CKD	0	0	0	0	0	PSA	21	14	22	8	8	前立腺がん	33	29	31	17	10	尿路上皮がん	1	0	0	0	0	サポートパス	0	0	0	0	0	心不全	0	0	0	0	0	合計	766	658	683	533	590	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6		紹介率の目標達成はできており、項目全体として特に進捗していると評価。
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																																																																																
紹介率	70.0	71.9	67.2	74.3	78.3																																																																																																																																																																																																																
逆紹介率	97.6	110.5	107.9	111.2	114.2																																																																																																																																																																																																																
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																																																																																
転院先	4	1	0	22	19																																																																																																																																																																																																																
開業医	16	41	45	149	250																																																																																																																																																																																																																
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																																																																																
紹介患者数	13,139	13,837	14,120	14,535	14,695																																																																																																																																																																																																																
逆紹介患者数	18,330	21,249	22,670	21,754	21,432																																																																																																																																																																																																																
転院患者数	1,177	1,140	1,016	1,043	1,176																																																																																																																																																																																																																
R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																																																																																	
1,802	1,839	1,835	1,845	1,927																																																																																																																																																																																																																	
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																																																																																
医療機関数	416	433	406	435	444																																																																																																																																																																																																																
医師数	531	550	570	580	617																																																																																																																																																																																																																
連携パス名	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																																																																																
急性心筋梗塞	62	69	44	20	15																																																																																																																																																																																																																
大腿骨頸部骨折	132	124	121	115	115																																																																																																																																																																																																																
脳卒中	313	255	318	253	279																																																																																																																																																																																																																
胃がん	30	45	30	22	35																																																																																																																																																																																																																
肝がん	1	2	0	0	0																																																																																																																																																																																																																
大腸がん	72	70	43	45	69																																																																																																																																																																																																																
乳がん	82	40	48	38	35																																																																																																																																																																																																																
肝炎	1	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																
肺がん	16	9	22	14	18																																																																																																																																																																																																																
糖尿病	1	1	2	1	1																																																																																																																																																																																																																
COPD	1	0	2	0	5																																																																																																																																																																																																																
CKD	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																
PSA	21	14	22	8	8																																																																																																																																																																																																																
前立腺がん	33	29	31	17	10																																																																																																																																																																																																																
尿路上皮がん	1	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																
サポートパス	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																
心不全	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																
合計	766	658	683	533	590																																																																																																																																																																																																																
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）						自己 評価	自己評価理由																																							
		した（令和4年12月までは小児科のみ）。 ・WEB 予約システムに関する広報活動とともに、地域医療機関への WEB 予約システム訪問設定及び利用開始後のサポートを継続実施することで、利用施設数並びに利用件数が大きく増加した。 ○WEB 予約受付件数 <table><tr><td>項目／年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>受付数</td><td>68</td><td>55</td><td>44</td><td>638</td><td>1,648</td></tr></table> ※令和4年12月までは小児科のみ	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	受付数	68	55	44	638	1,648	<table><tr><td>糖尿病</td><td>95.0</td><td>95.1</td><td>97.9</td><td>93.6</td><td>89.8</td></tr><tr><td>心不全</td><td>67.1</td><td>47.0</td><td>53.0</td><td>46.5</td><td>47.7</td></tr></table> ・糖尿病教室は11回実施した。肝臓病教室は、対面実施の代替として情報紙を年3回発行し、外来や栄養指導で配布した。健康祭では、対面で食事相談を実施した。 ・令和6年11月9日に「見て！聞いて！知って学ぼう！」をテーマに健康祭を開催した。医師による「内視鏡的治療」他4講演を行い、来場者対象の骨密度測定・体組成計測定の実施、またお薬相談・食事栄養相談・育児相談を実施した。 4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献 ・在宅医療・療養への移行に当たっては、退院後の在宅医療を担う医療機関の医師、看護師、訪問看護ステーションの看護師等と退院前合同カンファレンスを実施した。また、退院後に介護サービスの利用が見込まれる患者に対しては、ケアマネジャーと連携した退院指導を実施した。さらにケアマネジャーに連絡し、連携がスムーズにできるよう周知した。 ・合同カンファレンスやケアマネジャー等の外部との連携は、一時COVID-19 の面会制限により減少した。在宅調整は増加傾向となり、合同カンファレンス実施増加により地域包括ケアシステムへの貢献につながっている。 ○介護施設・ケアマネジャーからの情報提供件数 単位：件 <table><tr><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>881</td><td>787</td><td>1,074</td><td>1,136</td><td>927</td></tr></table> ○退院前合同カンファレンスの実施件数 単位：件 <table><tr><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>77</td><td>83</td><td>108</td><td>128</td><td>154</td></tr></table> ・医療ニーズが高い患者が安心・安全に在宅療養へ移行できるように支援するため、地域の訪問看護ステーションの看護師と共に患者を訪問し、支援を実施した。また、COVID-19 の影響で訪問できない場合には、リモートによる訪問も実施した。	糖尿病	95.0	95.1	97.9	93.6	89.8	心不全	67.1	47.0	53.0	46.5	47.7	R2	R3	R4	R5	R6	881	787	1,074	1,136	927	R2	R3	R4	R5	R6	77	83	108	128	154		
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																												
受付数	68	55	44	638	1,648																																												
糖尿病	95.0	95.1	97.9	93.6	89.8																																												
心不全	67.1	47.0	53.0	46.5	47.7																																												
R2	R3	R4	R5	R6																																													
881	787	1,074	1,136	927																																													
R2	R3	R4	R5	R6																																													
77	83	108	128	154																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																																										
			○訪問看護関連件数 単位：件 <table> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td>退院前</td><td>4</td><td>1</td><td>0</td><td>3</td><td>1</td></tr> <tr> <td>退院後</td><td>11</td><td>13</td><td>6</td><td>6</td><td>16</td></tr> <tr> <td>うち、訪問看護同行</td><td>9</td><td>11</td><td>5</td><td>5</td><td>11</td></tr> </table> 5 岐阜医療圏地域コンソーシアムの活用 定期的に開催されるワーキング会議（治験、ゲノム、薬品等契約、働き方改革、研修、医師確保、病院薬局連携、災害対策等）に当センターの各分野の担当者が参加し、その結果を構成医療機関の院長による運営委員会にて報告、協議する等、効率的で質の高い医療体制の構築に向けて連携の強化を図った。	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	退院前	4	1	0	3	1	退院後	11	13	6	6	16	うち、訪問看護同行	9	11	5	5	11																																																																				
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																										
退院前	4	1	0	3	1																																																																																										
退院後	11	13	6	6	16																																																																																										
うち、訪問看護同行	9	11	5	5	11																																																																																										
05	※ 重点的に取り組む医療 1 救急医療 2 心血管疾患医療 3 周産期医療 4 がん医療 5 こども医療	1 救急医療 - 岐阜圏域の救命救急センターとして、救急疾患に対し全診療科が対応、当センターでの救急医療の完結を目指し、二次・三次救急患者を24時間体制で受け入れた。 - 受入体制について、外来については、内科系、外科系、小児科系の医師による24時間体制としたほか、入院については、主治医制で対応した。一方、臨床検査や放射線検査については、常時、検査可能とし、救急関係診療科の24時間呼び出しにより、緊急手術に常時対応できる体制を確保した。また、麻酔科医、産婦人科医等専門診療科医については、オンコール体制での対応を行った。 ○病床利用状況 <table> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td>延べ入院患者数（単位：人）</td><td>6,360</td><td>7,708</td><td>8,304</td><td>7,795</td><td>7,915</td></tr> <tr> <td>病床利用率（単位：％）</td><td>58.1</td><td>70.4</td><td>75.8</td><td>71.0</td><td>72.3</td></tr> </table> ○救急車受入状況 単位：件 <table> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td>救急車受入件数</td><td>4,705</td><td>5,327</td><td>6,014</td><td>6,285</td><td>6,082</td></tr> </table>	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	延べ入院患者数（単位：人）	6,360	7,708	8,304	7,795	7,915	病床利用率（単位：％）	58.1	70.4	75.8	71.0	72.3	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	救急車受入件数	4,705	5,327	6,014	6,285	6,082	2 心血管疾患医療 内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が連携してチーム医療を行う県内初の施設として、心臓血管系の疾患患者に対応するとともに、不整脈科等設置した専門の診療科において、それぞれの患者に最適な治療を提供することができた。 ○手術・検査数 単位：件 <table> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td>心臓カテーテル</td><td>1,023</td><td>1,082</td><td>1,053</td><td>1,142</td><td>1,020</td></tr> <tr> <td>PCI（経皮的冠動脈形成術）</td><td>398</td><td>531</td><td>421</td><td>473</td><td>503</td></tr> <tr> <td>冠動脈バイパス術</td><td>26</td><td>42</td><td>47</td><td>36</td><td>44</td></tr> <tr> <td>弁置換術</td><td>25</td><td>28</td><td>17</td><td>16</td><td>14</td></tr> <tr> <td>弁形成術</td><td>6</td><td>11</td><td>15</td><td>10</td><td>7</td></tr> <tr> <td>大動脈瘤切除術</td><td>34</td><td>46</td><td>48</td><td>38</td><td>46</td></tr> </table> ○循環器系 単位：件 <table> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td>Ablation（アブレーション）</td><td>255</td><td>273</td><td>259</td><td>299</td><td>313</td></tr> <tr> <td>PMI（ペースメーカ）</td><td>128</td><td>150</td><td>143</td><td>144</td><td>146</td></tr> </table>	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	心臓カテーテル	1,023	1,082	1,053	1,142	1,020	PCI（経皮的冠動脈形成術）	398	531	421	473	503	冠動脈バイパス術	26	42	47	36	44	弁置換術	25	28	17	16	14	弁形成術	6	11	15	10	7	大動脈瘤切除術	34	46	48	38	46	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	Ablation（アブレーション）	255	273	259	299	313	PMI（ペースメーカ）	128	150	143	144	146	IV	救急車受入件数の維持や重症な救急、周産期患者の増加に加え、がん患者数も維持できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																										
延べ入院患者数（単位：人）	6,360	7,708	8,304	7,795	7,915																																																																																										
病床利用率（単位：％）	58.1	70.4	75.8	71.0	72.3																																																																																										
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																										
救急車受入件数	4,705	5,327	6,014	6,285	6,082																																																																																										
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																										
心臓カテーテル	1,023	1,082	1,053	1,142	1,020																																																																																										
PCI（経皮的冠動脈形成術）	398	531	421	473	503																																																																																										
冠動脈バイパス術	26	42	47	36	44																																																																																										
弁置換術	25	28	17	16	14																																																																																										
弁形成術	6	11	15	10	7																																																																																										
大動脈瘤切除術	34	46	48	38	46																																																																																										
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																										
Ablation（アブレーション）	255	273	259	299	313																																																																																										
PMI（ペースメーカ）	128	150	143	144	146																																																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況					その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）					自己 評価	自己評価理由
		<table><tr><td>一日平均件数</td><td>12.9</td><td>14.6</td><td>16.5</td><td>17.2</td><td>16.7</td></tr></table> ○救急外来患者（診療科別：上位のみ）					一日平均件数	12.9	14.6	16.5	17.2	16.7	
一日平均件数	12.9	14.6	16.5	17.2	16.7								

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況						その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）						自己 評価	自己評価理由																																																																		
		<table><tr><td>胎盤位置異常</td><td>53</td><td>50</td><td>28</td><td>29</td><td>38</td></tr><tr><td>羊水の異常</td><td>80</td><td>84</td><td>52</td><td>34</td><td>87</td></tr><tr><td>胎児異常</td><td>77</td><td>115</td><td>101</td><td>92</td><td>120</td></tr><tr><td>FGR（胎児発育不全）</td><td>43</td><td>53</td><td>51</td><td>33</td><td>62</td></tr></table>						胎盤位置異常	53	50	28	29	38	羊水の異常	80	84	52	34	87	胎児異常	77	115	101	92	120	FGR（胎児発育不全）	43	53	51	33	62	<table><tr><td>受入患者数</td><td>4,581</td><td>5,711</td><td>6,408</td><td>7,129</td><td>5,963</td></tr><tr><td>うち、入院数</td><td>728</td><td>848</td><td>890</td><td>1,053</td><td>911</td></tr></table>						受入患者数	4,581	5,711	6,408	7,129	5,963	うち、入院数	728	848	890	1,053	911																																
		胎盤位置異常	53	50	28	29	38																																																																										
		羊水の異常	80	84	52	34	87																																																																										
		胎児異常	77	115	101	92	120																																																																										
		FGR（胎児発育不全）	43	53	51	33	62																																																																										
		受入患者数	4,581	5,711	6,408	7,129	5,963																																																																										
		うち、入院数	728	848	890	1,053	911																																																																										
		○合併症妊娠 単位：件																																																																															
		<table><tr><td>項目／年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>婦人科系疾患</td><td>117</td><td>132</td><td>157</td><td>153</td><td>178</td></tr><tr><td>心・血管疾患</td><td>9</td><td>8</td><td>10</td><td>22</td><td>12</td></tr><tr><td>血液疾患</td><td>1</td><td>8</td><td>9</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>腎疾患</td><td>9</td><td>14</td><td>13</td><td>13</td><td>17</td></tr><tr><td>糖尿病・妊娠性糖尿病</td><td>39</td><td>43</td><td>36</td><td>49</td><td>23</td></tr><tr><td>甲状腺疾患</td><td>35</td><td>38</td><td>59</td><td>37</td><td>31</td></tr><tr><td>自己免疫・膠原病</td><td>9</td><td>5</td><td>3</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td>呼吸器疾患</td><td>8</td><td>13</td><td>19</td><td>26</td><td>23</td></tr><tr><td>消化器疾患</td><td>3</td><td>22</td><td>9</td><td>13</td><td>7</td></tr><tr><td>精神・神経系</td><td>11</td><td>14</td><td>6</td><td>27</td><td>14</td></tr><tr><td>運動機能系</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>						項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	婦人科系疾患	117	132	157	153	178	心・血管疾患	9	8	10	22	12	血液疾患	1	8	9	4	5	腎疾患	9	14	13	13	17	糖尿病・妊娠性糖尿病	39	43	36	49	23	甲状腺疾患	35	38	59	37	31			自己免疫・膠原病	9	5	3	6	7	呼吸器疾患	8	13	19	26	23	消化器疾患	3	22	9	13	7	精神・神経系	11	14	6	27	14	運動機能系	0	0	0	0	0
		項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																										
		婦人科系疾患	117	132	157	153	178																																																																										
		心・血管疾患	9	8	10	22	12																																																																										
		血液疾患	1	8	9	4	5																																																																										
		腎疾患	9	14	13	13	17																																																																										
		糖尿病・妊娠性糖尿病	39	43	36	49	23																																																																										
		甲状腺疾患	35	38	59	37	31																																																																										
		自己免疫・膠原病	9	5	3	6	7																																																																										
		呼吸器疾患	8	13	19	26	23																																																																										
		消化器疾患	3	22	9	13	7																																																																										
		精神・神経系	11	14	6	27	14																																																																										
		運動機能系	0	0	0	0	0																																																																										
		○ハイリスク妊婦・分娩等（対象者） 単位：件																																																																															
		<table><tr><td>項目／年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>総合周産期加算</td><td>307</td><td>335</td><td>291</td><td>310</td><td>264</td></tr><tr><td>ハイリスク妊娠</td><td>209</td><td>254</td><td>264</td><td>287</td><td>217</td></tr><tr><td>ハイリスク分娩</td><td>91</td><td>128</td><td>109</td><td>132</td><td>116</td></tr><tr><td>救急加算</td><td>156</td><td>149</td><td>148</td><td>148</td><td>171</td></tr></table>						項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	総合周産期加算	307	335	291	310	264	ハイリスク妊娠	209	254	264	287	217	ハイリスク分娩	91	128	109	132	116	救急加算	156	149	148	148	171																																												
		項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																										
		総合周産期加算	307	335	291	310	264																																																																										
ハイリスク妊娠	209	254	264	287	217																																																																												
ハイリスク分娩	91	128	109	132	116																																																																												
救急加算	156	149	148	148	171																																																																												
○保健指導実績 単位：件																																																																																	
<table><tr><td>項目／年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>保健指導</td><td>1,224</td><td>1,177</td><td>1,131</td><td>1,167</td><td>1114</td></tr><tr><td>母乳相談</td><td>114</td><td>113</td><td>96</td><td>92</td><td>77</td></tr></table>						項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	保健指導	1,224	1,177	1,131	1,167	1114	母乳相談	114	113	96	92	77																																																										
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																												
保健指導	1,224	1,177	1,131	1,167	1114																																																																												
母乳相談	114	113	96	92	77																																																																												
＜新生児医療センターの運営＞ ・極低出生体重児は62名と前年度よりも増加した。 ・院外出生児に関しては、当院でしか管理できない中等症・重症例を受け																																																																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策 (●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																										
		入れた結果、50名と前年度よりも増加した。 - 当院では緊急対応必要な中等症・重症例を中心に新生児手術を行った結果、全ての科において手術件数が増加し54件となった。 ○出生、母体搬送件数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内出生</td><td>207</td><td>229</td><td>198</td><td>225</td><td>208</td></tr> <tr> <td>院外出生</td><td>84</td><td>63</td><td>39</td><td>38</td><td>50</td></tr> <tr> <td>母体搬送経由</td><td>36</td><td>30</td><td>31</td><td>44</td><td>43</td></tr> <tr> <td>超低出生体重児</td><td>31</td><td>22</td><td>24</td><td>31</td><td>23</td></tr> <tr> <td>極低出生体重児</td><td>57</td><td>48</td><td>41</td><td>50</td><td>62</td></tr> </tbody> </table> ○新生児手術状況 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児心臓外科</td><td>15</td><td>9</td><td>8</td><td>8</td><td>13</td></tr> <tr> <td>小児脳神経外科</td><td>5</td><td>6</td><td>3</td><td>1</td><td>7</td></tr> <tr> <td>小児外科</td><td>25</td><td>47</td><td>23</td><td>26</td><td>31</td></tr> <tr> <td>耳鼻科（気管切開）</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td><td>2</td><td>3</td></tr> </tbody> </table> 4 がん医療 - がん診療連携拠点病院として地域の医療機関と連携、あらゆる病期のがん患者に対して、良質な医療を提供した結果、COVID-19の影響が残る中であつても外来患者は増加した。 ○がん患者数 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td><td>2,926</td><td>3,069</td><td>3,342</td><td>3,465</td><td>3,395</td></tr> <tr> <td>外来</td><td>70,467</td><td>73,399</td><td>74,646</td><td>75,528</td><td>79,829</td></tr> <tr> <td>がん患者死亡数</td><td>67</td><td>62</td><td>73</td><td>79</td><td>89</td></tr> </tbody> </table> - 医療従事者や一般市民を対象とした研修会やがん事例の検討を行う「がんカンファレンス」、末期がん患者の症例や課題を検討する「病診連携緩和ケアカンファレンス」を感染防止に配慮するためハイブリット形式で開催し、がん医療に係る啓発を行った。	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	院内出生	207	229	198	225	208	院外出生	84	63	39	38	50	母体搬送経由	36	30	31	44	43	超低出生体重児	31	22	24	31	23	極低出生体重児	57	48	41	50	62	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	小児心臓外科	15	9	8	8	13	小児脳神経外科	5	6	3	1	7	小児外科	25	47	23	26	31	耳鼻科（気管切開）	3	4	4	2	3	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	入院	2,926	3,069	3,342	3,465	3,395	外来	70,467	73,399	74,646	75,528	79,829	がん患者死亡数	67	62	73	79	89			
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																										
院内出生	207	229	198	225	208																																																																																										
院外出生	84	63	39	38	50																																																																																										
母体搬送経由	36	30	31	44	43																																																																																										
超低出生体重児	31	22	24	31	23																																																																																										
極低出生体重児	57	48	41	50	62																																																																																										
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																										
小児心臓外科	15	9	8	8	13																																																																																										
小児脳神経外科	5	6	3	1	7																																																																																										
小児外科	25	47	23	26	31																																																																																										
耳鼻科（気管切開）	3	4	4	2	3																																																																																										
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																										
入院	2,926	3,069	3,342	3,465	3,395																																																																																										
外来	70,467	73,399	74,646	75,528	79,829																																																																																										
がん患者死亡数	67	62	73	79	89																																																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由
		・がん専門認定看護師及びがん関連分野認定看護師が、がん治療及び療養に携わった。 ○がん治療及び療養に携わるがん認定看護師等			

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																												
		・ゲノム医療に関しては、がんゲノム連携病院として、41 件のがん遺伝子パネル検査を実施した。 ・がん相談支援センターとして、「相談室」、「退院サポート部」及び「セカンドオピニオン」のがん相談をとりまとめている。 ・がん患者の就労支援として、社会保険労務士及び両立支援促進員による相談をそれぞれ月1回、ハローワーク就労支援員による相談を月1回～2回実施した。 ○がん相談支援センターの活動実績 単位：件 <table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>がん相談</td><td>917</td><td>1, 127</td><td>1, 018</td><td>1, 262</td><td>1, 140</td></tr><tr><td>就労支援（がん）</td><td>54</td><td>89</td><td>35</td><td>18</td><td>21</td></tr></table> ・平成24年度から、がん患者や家族のための「ほっとサロン」を毎日開催し、ピアサポーターによる支援を実施した。 ○ほっとサロン利用人数 単位：人 <table><tr><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>250</td><td>719</td><td>750</td><td>718</td><td>923</td></tr></table> ・AYA 世代サポートチームの活動を令和4年11月から開始した。毎月最終月曜日にチーム会議を開催した他、AYA 世代（15～39 歳）のがん患者への様々な支援を充実する活動（イベント参加や広報等）を行った。	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	がん相談	917	1, 127	1, 018	1, 262	1, 140	就労支援（がん）	54	89	35	18	21	R2	R3	R4	R5	R6	250	719	750	718	923			
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																												
がん相談	917	1, 127	1, 018	1, 262	1, 140																												
就労支援（がん）	54	89	35	18	21																												
R2	R3	R4	R5	R6																													
250	719	750	718	923																													

中期目標	1－2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。 ※ 調査及び臨床研究等の推進 先進医療の各分野において、疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び岐阜圏域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。 ※ 診療情報等の活用 電子カルテシステム等をより有効に活用し、標準化された診療データの収集・分析を行い医療の質の向上を図るとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。
------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策 (●)	自己 評価	自己評価理由																														
06	※ 調査及び臨床研究等の推進 1 臨床研究及び治験の推進 2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進		1 臨床研究及び治験の推進 ・治験実施件数は昨年度を下回ったが、治験症例件数は増加した。 ○治験 単位：件 <table border="1"> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td>治験実施件数</td><td>19</td><td>18</td><td>23</td><td>22</td><td>15</td></tr> <tr> <td>治験症例件数</td><td>17</td><td>35</td><td>39</td><td>25</td><td>38</td></tr> </table> ○臨床研究事業 単位：件 <table border="1"> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td>受託研究件数</td><td>129</td><td>108</td><td>140</td><td>104</td><td>113</td></tr> </table> ○主な臨床研究事業 ・当院の新生児低血糖ハイリスク児アルゴリズムにおける臍帯血糖値の役割について ・がん患者の意向を尊重した看護を行うための外来化学療法センターと他部署の連携の充実 ・従来は「倫理委員会」にて院内の臨床研究及び臨床倫理を取り扱っていたが、「倫理的検討を必要とする医療行為」や「診療における倫理的な問題に関すること」に関する個別事案の倫理的な審査については、令和4年12月より新たに設置した「臨床倫理委員会」で審議し、従来の委員会を「研究倫理委員会」として分けることにより、審査内容に応じた議論を行うこととした。 2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進 ・県立看護大学との共同研究（がん関係）を継続した。	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	治験実施件数	19	18	23	22	15	治験症例件数	17	35	39	25	38	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	受託研究件数	129	108	140	104	113	Ⅲ	継続的に取組みができているが、平年並みの実績と評価。
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																														
治験実施件数	19	18	23	22	15																														
治験症例件数	17	35	39	25	38																														
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																														
受託研究件数	129	108	140	104	113																														

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策 (●)	自己 評価	自己評価理由																								
07	※ 診療情報等の活用 1 電子カルテシステム等の更新 2 電子カルテシステム等に蓄積された各種医療データの有効活用 3 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用	2 電子カルテシステム等に蓄積された各種医療データの有効活用 ・医師が記載した電子カルテの診療記録について、記述内容等を診療情報管理委員会で監査し、そのレベル向上を図るとともに、病理検査結果、内視鏡検査結果の患者への説明状況や画像診断結果の確認状況等を点検することにより、医療の安全と質の向上に努めた。また、医療画像の提供 (8,056 件) やぎふ清流ネットの活用により、病診連携の実現に努めた。 ・診療情報として蓄積された DPC データについては、多職種で構成する分析チームにより、分析ソフトによる解析とコンサルタントを活用した 10 診療科の分析を実施した。また、分析により指摘した事項について、半年後の定量的な評価を継続した。 ○分析報告会の実施状況とコンサルティング委託費用 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分析報告会 開催回数</td><td>10</td><td>9</td><td>10</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr> <td>定量評価</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr> <td>委託費用 (千円)</td><td>2,777</td><td>2,999</td><td>3,109</td><td>2,933</td><td>2,933</td></tr> </tbody> </table>	項目	R2	R3	R4	R5	R6	分析報告会 開催回数	10	9	10	9	10	定量評価	○	○	○	○	○	委託費用 (千円)	2,777	2,999	3,109	2,933	2,933	・千葉大学との科研費を活用した共同研究 (研究課題: 老年症のエビデンス集積を通じて診療の質と患者 QOL を向上する全国研究) を継続した。 1 電子カルテシステム等の更新 ・令和5年1月に稼働を開始した新たな電子カルテシステムやその他の部門システムを有効活用し、医療情報等の標準化及び他医療機関との情報共有を実現し、医療安全、医療の質の向上等に寄与できるよう機能強化に努めた。 3 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 ・電子カルテ上の「退院サマリー」について、病歴管理システムにデータを連携・集計することにより医学統計書を作成した。また、「がん登録サマリー」については、がん登録システムを連携させることにより、迅速かつ正確に全国がん登録及び院内がん登録のデータを作成し、それをもとに作成した統計・分析資料を院内外に公開した。 ・診療内容やカンファレンス等については、診療科・センター毎にホームページにて随時情報提供を行った。 ・QI 活動では、日本病院会 (指標数: 49)、全国自治体病院協議会 (指標数: 41)、京都大学が研究している QIP 事業 (指標数: 157) に参加し、委員会での報告や院内の電子掲示板への公開によりフィードバック内容を共有した。	IV	院内分析チームにより診療情報を活用した分析報告会を多く実施していることに加え、QI 活動の継続等の取組みができており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目	R2	R3	R4	R5	R6																								
分析報告会 開催回数	10	9	10	9	10																								
定量評価	○	○	○	○	○																								
委託費用 (千円)	2,777	2,999	3,109	2,933	2,933																								

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1－3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。 ※ 医師の卒後臨床研修等の充実 臨床研修指定病院として、臨床研修医の積極的な受入れを行うとともに、岐阜県医師育成・確保コンソーシアムなどと連携し、臨床研修医の資質向上を図ること。 また、専門研修プログラムの基幹又は連携施設として、専攻医の育成に努めること。 ※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校などの学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																												
08	※ 医師の卒後臨床研修等の充実 1 質の高い臨床研修医の養成等 2 専攻医の育成等		1 質の高い臨床研修医の養成等 ・各診療科の研修指導医のもと、臨床研修医の養成を実施した。 ・令和6年12月に臨床研修評価機構（JCEP）の審査を受け、認定された。 ○初期臨床研修医と研修指導医数（年度末時点） 単位：人 <table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>初期臨床研修医</td><td>32</td><td>32</td><td>31</td><td>33</td><td>33</td></tr><tr><td>初期臨床研修医 （歯科）</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>研修指導医</td><td>89</td><td>88</td><td>89</td><td>86</td><td>89</td></tr></table> 2 専攻医の育成等 ・専門医機構から基幹病院として認定された内科、小児科、整形外科において、その役割（研修プログラムの作成と運用）を果たした。 ○専攻医学会参加者数（延べ人数） 単位：人 <table><tr><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>91</td><td>85</td><td>79</td><td>99</td><td>82</td></tr></table> ○専攻医数（年度末時点） 単位：人 <table><tr><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>52</td><td>42</td><td>40</td><td>42</td><td>45</td></tr></table>	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	初期臨床研修医	32	32	31	33	33	初期臨床研修医 （歯科）	2	2	1	3	2	研修指導医	89	88	89	86	89	R2	R3	R4	R5	R6	91	85	79	99	82	R2	R3	R4	R5	R6	52	42	40	42	45	Ⅲ	継続的に取組みができて いるが、平年並みの実績 と評価。
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																												
初期臨床研修医	32	32	31	33	33																																												
初期臨床研修医 （歯科）	2	2	1	3	2																																												
研修指導医	89	88	89	86	89																																												
R2	R3	R4	R5	R6																																													
91	85	79	99	82																																													
R2	R3	R4	R5	R6																																													
52	42	40	42	45																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																																																				
09	※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士などに対する教育の実施 1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入れ 2 救急救命士の病院実習等地域医療従事者への研修の実施及び充実		1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入れ ・県内医療従事者の育成を図るため、医学生をはじめ看護学生、コメディカルを目指す学生の実習等の受入れを行った。 ○医学生の実習等受入状況（実人数） 単位：人 <table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>医学生（実習）</td><td>25</td><td>42</td><td>56</td><td>41</td><td>41</td></tr><tr><td>医学生（病院見学）</td><td>123</td><td>151</td><td>123</td><td>118</td><td>88</td></tr></table> ○看護学生の実習受入状況（延べ人数） 単位：人 <table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>看護学生</td><td>4,687</td><td>6,490</td><td>5,772</td><td>5,614</td><td>5,749</td></tr></table> ○コメディカルの実習受入状況（実人数） 単位：人 <table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>薬剤部</td><td>18</td><td>16</td><td>18</td><td>18</td><td>18</td></tr><tr><td>リハビリ</td><td>7</td><td>8</td><td>16</td><td>15</td><td>16</td></tr><tr><td>中央放射線部</td><td>15</td><td>15</td><td>14</td><td>11</td><td>12</td></tr><tr><td>臨床工学部</td><td>4</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>栄養部</td><td>2</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>中央検査部</td><td>32</td><td>25</td><td>25</td><td>29</td><td>24</td></tr><tr><td>病理部</td><td>17</td><td>16</td><td>5</td><td>7</td><td>25</td></tr><tr><td>総合相談部</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>11</td><td>16</td></tr><tr><td>合 計</td><td>96</td><td>87</td><td>85</td><td>97</td><td>118</td></tr></table> 2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 ・救急救命士の病院実習や救急救命士取得のための臨床実習を受け入れた。 ○実習受入状況 単位：人 <table><tr><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>25</td><td>31</td><td>48</td><td>58</td><td>55</td></tr></table>	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	医学生（実習）	25	42	56	41	41	医学生（病院見学）	123	151	123	118	88	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	看護学生	4,687	6,490	5,772	5,614	5,749	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	薬剤部	18	16	18	18	18	リハビリ	7	8	16	15	16	中央放射線部	15	15	14	11	12	臨床工学部	4	2	2	2	3	栄養部	2	4	4	4	4	中央検査部	32	25	25	29	24	病理部	17	16	5	7	25	総合相談部	1	1	1	11	16	合 計	96	87	85	97	118	R2	R3	R4	R5	R6	25	31	48	58	55	Ⅲ	継続的に取組みができて いるが、平年並みの実績 と評価。
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																				
医学生（実習）	25	42	56	41	41																																																																																																				
医学生（病院見学）	123	151	123	118	88																																																																																																				
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																				
看護学生	4,687	6,490	5,772	5,614	5,749																																																																																																				
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																				
薬剤部	18	16	18	18	18																																																																																																				
リハビリ	7	8	16	15	16																																																																																																				
中央放射線部	15	15	14	11	12																																																																																																				
臨床工学部	4	2	2	2	3																																																																																																				
栄養部	2	4	4	4	4																																																																																																				
中央検査部	32	25	25	29	24																																																																																																				
病理部	17	16	5	7	25																																																																																																				
総合相談部	1	1	1	11	16																																																																																																				
合 計	96	87	85	97	118																																																																																																				
R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																					
25	31	48	58	55																																																																																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1－4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。 ※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、岐阜圏域の基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域、医師不足診療科、へき地診療所等への、医師派遣等の人的支援を含む診療支援を充実させ、県全体の医療の確保に努めること。 へき地医療拠点病院として、代診医師の派遣や巡回診療などへき地診療所等への支援機能を充実させること。 ※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。 ※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報について、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由
10	※ 地域医療への支援 1 地域医療水準の向上 2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による県全体の医療の確保 3 へき地医療対策の支援		1 地域医療水準の向上 ・クリニカルミーティングは感染対策及び参加しやすさを考慮しハイブリット形式にて開催した。院内外の多職種 113 名の参加があった。 ・二次性骨折予防に関する研修会を 5 回開催し、地域医療機関より 50 名の参加があった。 ・高度医療機器の共同利用は、COVID-19 の影響により自施設に設置する医療機関が増加したことで減少した。上部内視鏡検査は医療安全上診察を行う必要があることから、共同利用ではなく通常の紹介患者扱いとしたため、0 件となった。地域連携バスの二次性骨折予防バスの普及をめざし、令和 7 年 1 月より新たに骨密度（骨塩定量測定）検査を追加したが、年度内の利用はなかった。	Ⅲ	継続的に取組みができているが、平年並みの実績と評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																														
			○高度医療機器の共同利用実績 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td><td>272</td><td>318</td><td>252</td><td>189</td><td>227</td></tr> <tr> <td>MRI</td><td>286</td><td>309</td><td>274</td><td>237</td><td>315</td></tr> <tr> <td>上部内視鏡検査</td><td>57</td><td>60</td><td>5</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>骨密度検査 (令和7年1月～)</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> ・開放型病床の利用実績を踏まえ、令和6年度より開放型病床数を20床より10床に変更した。そのため、令和6年度の病床利用率は増加した。 ○開放型病床の利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同指導 (単位：回/月)</td><td>2.8</td><td>6.0</td><td>1.25</td><td>1.3</td><td>0.8</td></tr> <tr> <td>病床利用率 (単位：%)</td><td>37.1</td><td>29.3</td><td>14.7</td><td>21.1</td><td>40.8</td></tr> </tbody> </table> ・母とこども医療センターの夜間・休日診療に4人、救命救急センターの夜間・休日診療に4人の勤務医・開業医が協力するとともに、各務原市医師会所属医師5人が小児輪番日において地域連携診療を実施した。 ○輪番制実施状況 単位：日 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児</td><td>257</td><td>249</td><td>234</td><td>250</td><td>253</td></tr> <tr> <td>内科・外科系</td><td>66</td><td>84</td><td>72</td><td>99</td><td>99</td></tr> </tbody> </table> ・岐阜県医師会が運用する「ぎふ清流ネット」に参加し、地域の医療機関に当センターの電子カルテ診療情報を提供した。 ○ぎふ清流ネット公開状況（累計） 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関数</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td><td>16</td><td>19</td></tr> </tbody> </table>	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	CT	272	318	252	189	227	MRI	286	309	274	237	315	上部内視鏡検査	57	60	5	0	0	骨密度検査 (令和7年1月～)	－	－	－	－	0	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	共同指導 (単位：回/月)	2.8	6.0	1.25	1.3	0.8	病床利用率 (単位：%)	37.1	29.3	14.7	21.1	40.8	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	小児	257	249	234	250	253	内科・外科系	66	84	72	99	99	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	医療機関数	13	13	13	16	19		
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																														
CT	272	318	252	189	227																																																																														
MRI	286	309	274	237	315																																																																														
上部内視鏡検査	57	60	5	0	0																																																																														
骨密度検査 (令和7年1月～)	－	－	－	－	0																																																																														
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																														
共同指導 (単位：回/月)	2.8	6.0	1.25	1.3	0.8																																																																														
病床利用率 (単位：%)	37.1	29.3	14.7	21.1	40.8																																																																														
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																														
小児	257	249	234	250	253																																																																														
内科・外科系	66	84	72	99	99																																																																														
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																														
医療機関数	13	13	13	16	19																																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																														
			<table border="1"> <tr> <td>患者数</td><td>220</td><td>227</td><td>238</td><td>280</td><td>349</td></tr> </table> 2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による県全体の医療の確保 - 県立下呂温泉病院や高山赤十字病院等に対して、診療上の人的支援を行った。 ○他の医療機関への人的支援の状況（延べ人数） 単位：人 <table border="1"> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td>県立下呂温泉病院 （後期研修医を含む※1）</td><td>888</td><td>978</td><td>402</td><td>767</td><td>402</td></tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td><td>14</td><td>14</td><td>58</td><td>22</td><td>125</td></tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr> <tr> <td>県立多治見病院</td><td>1</td><td>1</td><td>4</td><td>8</td><td>—</td></tr> <tr> <td>国保津保川診療所</td><td>—</td><td>—</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr> <tr> <td>国保洞戸診療所</td><td>12</td><td>11</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr> <td>国保久々野診療所※2</td><td>—</td><td>1</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr> <td>郡上市民病院</td><td>49</td><td>46</td><td>41</td><td>—</td><td>—</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>976</td><td>1,063</td><td>530</td><td>821</td><td>551</td></tr> </table> ※1 後期研修医数に退職派遣した専攻医を含む。 ※2 岐阜県へき地医療支援機構依頼分 3 へき地医療対策の支援 - 岐阜県へき地医療支援機構からの代診要請に対して対応可能な体制を確保し、依頼があった際には派遣を行った。 - 新専門医制度による専門研修プログラムに基づき、一定期間下呂温泉病院に対して専攻医を退職派遣した。 ○下呂温泉病院への派遣状況（延べ人数） 単位：人 <table border="1"> <tr> <th>職種・年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td>内科医（※）</td><td>730</td><td>942</td><td>366</td><td>732</td><td>378</td></tr> </table> ※ 後期研修医数や退職派遣した専攻医を含む。	患者数	220	227	238	280	349	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	県立下呂温泉病院 （後期研修医を含む※1）	888	978	402	767	402	高山赤十字病院	14	14	58	22	125	下呂市立金山病院	12	12	12	12	12	県立多治見病院	1	1	4	8	—	国保津保川診療所	—	—	12	12	12	国保洞戸診療所	12	11	—	—	—	国保久々野診療所※2	—	1	1	—	—	郡上市民病院	49	46	41	—	—	合計	976	1,063	530	821	551	職種・年度	R2	R3	R4	R5	R6	内科医（※）	730	942	366	732	378		
患者数	220	227	238	280	349																																																																														
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																														
県立下呂温泉病院 （後期研修医を含む※1）	888	978	402	767	402																																																																														
高山赤十字病院	14	14	58	22	125																																																																														
下呂市立金山病院	12	12	12	12	12																																																																														
県立多治見病院	1	1	4	8	—																																																																														
国保津保川診療所	—	—	12	12	12																																																																														
国保洞戸診療所	12	11	—	—	—																																																																														
国保久々野診療所※2	—	1	1	—	—																																																																														
郡上市民病院	49	46	41	—	—																																																																														
合計	976	1,063	530	821	551																																																																														
職種・年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																														
内科医（※）	730	942	366	732	378																																																																														
11	※ 社会的な要請への協力		・医療に関する鑑定や調査、講師派遣等、社会的な要請に対し随時協力を行った。	Ⅲ	継続的に取組みができているが、平年並みの実																																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策 (●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																						
			○大学等への派遣実績 単位：人 <table> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td>岐阜大学への講師（医師・ 歯科医師）派遣</td><td>37</td><td>37</td><td>43</td><td>44</td><td>43</td></tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への 講師（医師・歯科医師）派 遣</td><td>143</td><td>141</td><td>149</td><td>162</td><td>162</td></tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への 講師（看護師）派遣</td><td>61</td><td>62</td><td>61</td><td>61</td><td>50</td></tr> <tr> <td>各種学校への講師（看護 師）派遣</td><td>7</td><td>10</td><td>15</td><td>7</td><td>8</td></tr> <tr> <td>金城学院大学への講師 （薬剤師）派遣</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr> <td>岐阜医療科学大学への講 師（薬剤師）派遣</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr> <td>岐阜医療科学大学への講 師（臨床検査技師）派遣</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への 専門相談員（理学療法士） 派遣</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への 講師（管理栄養士）派遣</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への 専門相談員（臨床心理士） 派遣</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への 講師（社会福祉士）派遣</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table> ○講師派遣の状況（上記以外） 単位：人 <table> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td>医師</td><td>52</td><td>56</td><td>54</td><td>52</td><td>58</td></tr> <tr> <td>歯科医師</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr> <td>看護師</td><td>19</td><td>47</td><td>38</td><td>39</td><td>48</td></tr> <tr> <td>薬剤部</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> </table>	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	岐阜大学への講師（医師・ 歯科医師）派遣	37	37	43	44	43	岐阜県衛生専門学校への 講師（医師・歯科医師）派 遣	143	141	149	162	162	岐阜県衛生専門学校への 講師（看護師）派遣	61	62	61	61	50	各種学校への講師（看護 師）派遣	7	10	15	7	8	金城学院大学への講師 （薬剤師）派遣	1	1	1	1	1	岐阜医療科学大学への講 師（薬剤師）派遣	1	1	0	1	0	岐阜医療科学大学への講 師（臨床検査技師）派遣	1	1	1	2	1	岐阜県衛生専門学校への 専門相談員（理学療法士） 派遣	6	6	6	6	6	岐阜県衛生専門学校への 講師（管理栄養士）派遣	0	0	0	1	1	岐阜県衛生専門学校への 専門相談員（臨床心理士） 派遣	1	1	1	1	1	岐阜県衛生専門学校への 講師（社会福祉士）派遣	5	5	5	1	1	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	医師	52	56	54	52	58	歯科医師	0	0	1	0	1	看護師	19	47	38	39	48	薬剤部	1	0	1	0	1		績と評価。
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																						
岐阜大学への講師（医師・ 歯科医師）派遣	37	37	43	44	43																																																																																																						
岐阜県衛生専門学校への 講師（医師・歯科医師）派 遣	143	141	149	162	162																																																																																																						
岐阜県衛生専門学校への 講師（看護師）派遣	61	62	61	61	50																																																																																																						
各種学校への講師（看護 師）派遣	7	10	15	7	8																																																																																																						
金城学院大学への講師 （薬剤師）派遣	1	1	1	1	1																																																																																																						
岐阜医療科学大学への講 師（薬剤師）派遣	1	1	0	1	0																																																																																																						
岐阜医療科学大学への講 師（臨床検査技師）派遣	1	1	1	2	1																																																																																																						
岐阜県衛生専門学校への 専門相談員（理学療法士） 派遣	6	6	6	6	6																																																																																																						
岐阜県衛生専門学校への 講師（管理栄養士）派遣	0	0	0	1	1																																																																																																						
岐阜県衛生専門学校への 専門相談員（臨床心理士） 派遣	1	1	1	1	1																																																																																																						
岐阜県衛生専門学校への 講師（社会福祉士）派遣	5	5	5	1	1																																																																																																						
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																						
医師	52	56	54	52	58																																																																																																						
歯科医師	0	0	1	0	1																																																																																																						
看護師	19	47	38	39	48																																																																																																						
薬剤部	1	0	1	0	1																																																																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）					自己 評価	自己評価理由																																						
			<table><tr><td>リハビリ</td><td>6</td><td>5</td><td>14</td><td>15</td><td>13</td></tr><tr><td>中央放射線部</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>臨床工学部</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>栄養部</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>中央検査部</td><td>0</td><td>1</td><td>9</td><td>15</td><td>19</td></tr><tr><td>社会福祉士</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>合計</td><td>81</td><td>111</td><td>119</td><td>124</td><td>144</td></tr></table>	リハビリ	6	5	14	15	13	中央放射線部	0	0	0	0	0	臨床工学部	1	0	0	1	1	栄養部	0	0	0	0	1	中央検査部	0	1	9	15	19	社会福祉士	2	2	2	2	2	合計	81	111	119	124	144		
リハビリ	6	5	14	15	13																																										
中央放射線部	0	0	0	0	0																																										
臨床工学部	1	0	0	1	1																																										
栄養部	0	0	0	0	1																																										
中央検査部	0	1	9	15	19																																										
社会福祉士	2	2	2	2	2																																										
合計	81	111	119	124	144																																										
12	※ 保健医療情報の提供・発信 1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 2 保健医療、健康管理等の情報提供		1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・令和6年11月9日に「見て！聞いて！知って学ぼう！」をテーマに健康祭を実施した。医師による「内視鏡的治療」他4講演を行い、来場者を対象に骨密度測定・体組成計測定を実施し、また、お薬相談・食事栄養相談・育児相談を実施した。 ・令和7年2月3日から3月16日に公開講座「遺伝性乳がん卵巣がんって何？」をWEBにて開催（当センターYoutubeチャンネルにて限定公開）した。 ・令和7年2月24日に、日本アレルギー協会東海支部との共催で、アレルギーに関する市民公開講座をWeb上でライブ配信した。 ○健康祭の実施状況 <table><tr><td>項目/年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>テーマ</td><td></td><td>健康寿命延伸</td><td>やさしい医療</td><td>救急医療・放射線治療</td><td>病院を知ってもらおう</td></tr><tr><td>参加者数（人）</td><td></td><td>84※</td><td>85※</td><td>108※</td><td>414</td></tr></table> ※令和3～令和5年度は視聴者数 2 保健医療、健康管理等の情報提供 ・広報誌「けんこう」及び地域医療連携誌「れんけい」に加え、「けんこう」の特別号である「つなぐ」をそれぞれ2回発行した。 ・プレス発表や取材協力等マスメディアを活用した情報発信を行った。 ・各診療科で実施するがん治療を地域住民へ周知するため、「患者さ					項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	テーマ		健康寿命延伸	やさしい医療	救急医療・放射線治療	病院を知ってもらおう	参加者数（人）		84※	85※	108※	414	Ⅲ	継続的に取組みができているが、平年並みの実績と評価。																				
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																										
テーマ		健康寿命延伸	やさしい医療	救急医療・放射線治療	病院を知ってもらおう																																										
参加者数（人）		84※	85※	108※	414																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由
			んやご家族のためのがん治療・療養生活ハンドブック」を発行し、地域の医療機関や公共施設へ配布した。		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1ー5 災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チーム（以下「DMAT」という。）の派遣など医療救護を行うことを求める。 ※ 医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは岐阜圏域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。岐阜県の基幹災害拠点病院として、県内の災害拠点病院に対し災害医療研修や災害医療訓練（公開）を行うなど指導的役割を発揮すること。 また、食料及び飲料水の優先納入体制の整備など災害時医療体制の充実・強化を図ること。 ※ 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、岐阜県の要請に基づき DMAT を派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。 ※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画（BCP）の継続的な見直し及び訓練等を実施すること。 ※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 新型インフルエンザ等（新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。）発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受入れ、重症症例の治療等を行うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由												
13	※ 医療救護活動の拠点機能の充実 1 医療救護活動の拠点機能の充実 2 基幹災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進	2 基幹災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進 ・災害時における医療体制の連携強化のため、岐阜市民病院と被害状況及び災害体制についての情報共有訓練を実施した。 ・事件現場における傷病者の発生に対し、応急的な治療を行うことで救命率を向上させるため、岐阜県警察と事件現場医療派遣チーム（IMAT）の運用に関する協定を継続した。また、協定に基づき、岐阜県警察学校で実施された「人質立てこもり事件対応訓練」に参加した。	1 医療救護活動の拠点機能の充実 ・診療時間中に岐阜県南西部に震度7の地震が発生し、当院に多数の負傷者が来院又は搬入されるという想定のもと、災害対策本部の立ち上げ、病院機能の通常診療から災害医療体制への切り替えを主な内容とした災害対策訓練（机上型）を実施した。 ○災害対策訓練の実施状況 <table border="1"> <tr> <td>項目／年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr> <td>実施日</td><td>10/2</td><td>9/10</td><td>11/24</td><td>10/21</td><td>12/18</td></tr> </table>	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	実施日	10/2	9/10	11/24	10/21	12/18	IV	災害対策訓練として机上型の訓練が実施できたこと及び全国でも稀な事件現場での応急処置に対応するIMAT協定も継続できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6												
実施日	10/2	9/10	11/24	10/21	12/18												

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（○）	自己 評価	自己評価理由						
			<table border="1"> <tr> <td>参加者（人）</td><td>73</td><td>1,264</td><td>93</td><td>242</td><td>120</td></tr> </table> ※令和2、4年度…集合講習（特定の役職以上のみ対象） 令和3年度…Web講習（日付は通信開始日）	参加者（人）	73	1,264	93	242	120		
参加者（人）	73	1,264	93	242	120						
14	※ 他県等の医療救護への協力 1 大規模災害に対応するためのDMAT体制の確保と訓練・研修 2 大規模災害発生時のDMATの派遣		1 大規模災害に対応するためのDMAT体制の確保と訓練・研修 ・大規模災害への対応を図るため、DMAT（3班）及び岐阜県地域防災計画に基づく医療救護班を編成し、必要な機能の整備を図った。 ・中部ブロックDMAT技能維持研修に6人参加した。 ・岐阜市消防本部が主催する「テロ災害、多数傷病者対応訓練」にDMATを派遣し訓練に参加した。 2 大規模災害発生時のDMATの派遣 ・今年度はDMATの派遣要請がなかった。	III	継続的に取組みができていますが、平年並みの実績と評価。						
15	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施 2 診療情報のバックアップシステムの適正管理	2 診療情報のバックアップシステムの適正管理 ・大規模災害やシステム障害に備え、院内2か所の電算室と遠隔地へバックアップを行っている診療情報データの適正な維持管理に努めた。また、各部署へ配備した診療情報参照用パソコン（ローカルSS-MIXストレージ）の適正な維持管理に努めた。 また、サイバー攻撃等によりシステムが利用できなくなる障害に備え医療総合情報システム事業継続計画（IT-BCP）を策定した。	1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施 ・被災時において、迅速に災害医療体制に移行できるよう、「災害対策マニュアル」に基づいた災害対策訓練を行った。	IV	遠隔地へのバックアップに加え、システム障害にも備えた体制が継続されており、項目全体として特に進捗していると評価。						
16	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施	1 新型インフルエンザ等発生時における受入体制の整備 ・令和2年2月に立ち上げたCOVID-19対策本部を継続し、病院幹部と各部門責任者、感染対策部メンバー等にて2か月に1回程度開催した。 ・診療・検査医療機関として、発熱外来を設置し発熱患者のトリアージを継続した。 ・第一種、第二種協定指定医療機関として、5階西病棟をCOVID-19患者受入れ病棟として確保することに加え、診療体制を患者数に応じたものに強化した。また、専用病棟以外でも受入れが出来るよう準備を進め、受入れを行った。	2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 ・新型コロナウイルス院内対応マニュアル、SARS-CoV-2検査フローチャートを電子カルテサイボウズ上にアップし随時更新して、職員がいつでも学べるように整備した。	IV	COVID-19の患者に対して、迅速かつ柔軟な受入体制を継続しており、項目全体として特に進捗していると評価。						

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由				
		○COVID-19 診療体制 <table><tr><td>軽症～中等症Ⅰ</td><td>当該科</td></tr><tr><td>中等症Ⅱ以上</td><td>呼吸器内科・感染症内科の 交代制</td></tr></table> ・マスク・ガウン・消毒薬等の必要物資の調達・備蓄に努めた。 ・通院中の外来患者、入院患者に対する COVID-19 ワクチン接種に取り組んだ。 ・COVID-19 院内感染を未然に防止するため、職員からの発熱等の報告に対して迅速に対応する体制を整え、状況把握に努めた。 ・外来や病棟で COVID-19 陽性の患者や職員が出た際には、周囲の患者、職員の接触状況を確認してリスクがある方に対し検査を実施し、感染対策部の主導のもと、看護部、各診療科の医師、各部門・部署の所属長等が協力して行う体制を整備して、感染拡大を防止できた。 ・院内職員に対する COVID-19 ワクチンの接種を病院一部費用負担のもと希望者に対して実施し、安全な医療を提供できる体制を整えた。	軽症～中等症Ⅰ	当該科	中等症Ⅱ以上	呼吸器内科・感染症内科の 交代制			
軽症～中等症Ⅰ	当該科								
中等症Ⅱ以上	呼吸器内科・感染症内科の 交代制								

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	1-6 重症心身障がい児の入所施設の運営 岐阜県が推進する総合療育の拠点として、在宅で療養を行うことが困難な重症心身障がい児のうち、人工呼吸器装着など濃厚な医療的ケアを要する児を主な対象とする医療型障害児入所施設の運営の継続を求める。 ※ 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の充実 入所児に対し、訪問教育を実施する受入れ体制を維持すること。また、デイルーム、図書室兼遊戯室、機能訓練室、言語療養室などの各種施設・設備を活用した療育及び機能訓練プログラム等を行い、医療・療育体制の充実を図ること。 ※ 在宅医療支援体制の充実 レスパイトケア（障がい児を在宅でケアしている家族を癒すため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス）のための短期入所機能の維持を図ること。 入院障がい児の円滑な在宅移行を支援するため、家族に対する医療的ケア指導等の在宅移行に向けた訓練や、在宅医療・療育の相談などを実施すること。 在宅移行後の容体悪化や救急時に対応するための医療支援を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																												
17	※ 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の充実 1 医療型障害児入所施設の運営の継続 2 医療・療育体制の整備 3 入所児への在宅移行又は転院に向けた支援の実施		1 医療型障害児入所施設の運営の継続 ・こども基本法の基本理念に沿って、家庭における重症心身障がい児の療育を支援し、保護者等に対して労力、技術、精神的な支援を行うと共に、家庭での養育が困難な児にはできる限り家庭と同様の療育環境を提供できるよう施設運営を進めた。 ・長期入所として入所児に対し医療的ケア、生活支援及び療育を実施した。（年度末入所児（長期・有期）は合計10名（前年同数）） ・退院後に在宅で安心して生活できるよう家族がケア方法等を習得するための有期有目的入所（教育入所）として4名（前年比＋1名）を受入れた。 ○入所者数の推移 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有期入所</td><td>4</td><td>4</td><td>6</td><td>6</td><td>8</td></tr> <tr> <td>教育入所</td><td>2</td><td>3</td><td>1</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr> <td>長期入所</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td></tr> <tr> <td>措置入所</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td><td>6</td><td>6</td></tr> </tbody> </table> ※措置入所には一時保護委託を含む ・医師、看護師、介護福祉士及び保育士について、入所者数に応じた適切な人員確保に努めた。 ○人員体制の推移 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr> <td>看護師</td><td>24</td><td>24</td><td>28</td><td>28</td><td>24</td></tr> <tr> <td>介護福祉士</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>13</td><td>12</td></tr> <tr> <td>保育士</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> </tbody> </table> 2 医療・療育体制の充実 ・入所施設の各種施設・設備を活用し、医師、看護師、リハビリテーション技師、保育士、介護福祉士、管理栄養士等の連携による療育・機能訓練プログラムを実施した。 ・岐阜県立長良特別支援学校からの訪問教育では、授業や入学式等の学校行事が円滑に実施されるよう、医教連絡会議や月例連絡会	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	有期入所	4	4	6	6	8	教育入所	2	3	1	3	4	長期入所	3	4	5	4	3	措置入所	5	4	4	6	6	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	医師	4	4	4	4	4	看護師	24	24	28	28	24	介護福祉士	13	14	15	13	12	保育士	3	3	2	2	2	Ⅲ	継続的に取組みができているが、平年並みの実績と評価。
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																												
有期入所	4	4	6	6	8																																																												
教育入所	2	3	1	3	4																																																												
長期入所	3	4	5	4	3																																																												
措置入所	5	4	4	6	6																																																												
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																												
医師	4	4	4	4	4																																																												
看護師	24	24	28	28	24																																																												
介護福祉士	13	14	15	13	12																																																												
保育士	3	3	2	2	2																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																												
			議を実施するなど学校との連携を図り、積極的な支援に取り組んだ。 （小学部：3人、中学部：2人、高等部：1人） 3 入所児への在宅移行又は転院に向けた支援の実施 ・入所児の支援者会議等の中で在宅移行や転院の検討を行った。 【支援者会議開催状況】 <table><tr><th>項目</th><th>支援者会議</th><th>個別懇談</th></tr><tr><td>長期入所児</td><td>32回</td><td>16回</td></tr><tr><td>在宅移行（転院目的）</td><td>0回</td><td>0回</td></tr><tr><td>在宅移行（教育入所）</td><td>8回</td><td>4回</td></tr><tr><td>有期入所児（要支援）</td><td>0回</td><td>0回</td></tr><tr><td>一時保護委託</td><td>2回</td><td>2回</td></tr></table>	項目	支援者会議	個別懇談	長期入所児	32回	16回	在宅移行（転院目的）	0回	0回	在宅移行（教育入所）	8回	4回	有期入所児（要支援）	0回	0回	一時保護委託	2回	2回												
項目	支援者会議	個別懇談																															
長期入所児	32回	16回																															
在宅移行（転院目的）	0回	0回																															
在宅移行（教育入所）	8回	4回																															
有期入所児（要支援）	0回	0回																															
一時保護委託	2回	2回																															
18	※ 在宅医療支援体制の充実 1 レスパイトケアのための短期入所機能の継続 2 家族に対する在宅医療指導等の実施 3 在宅移行後の容体悪化等に対する医療支援	1 レスパイトケアのための短期入所機能の継続 ・重症心身障がい児（者）の在宅療養が増える傾向にあり、保護者等の介護の負担軽減と児（者）への良好な療養環境の提供を目指して、段階的に短期入所を増床して受入人数を増やした。 ・利用延べ人数は前年度比 41％の増、利用延べ日数は前年比 20.1％の増となっており、利用が大幅に増加した。 ○短期入所定員数（空床利用型）の推移 <table><tr><td>H28.7～H29.10</td><td>定員2人</td></tr><tr><td>H29.11～R5.1</td><td>定員3人</td></tr><tr><td>R5.2～R5.4</td><td>定員4人</td></tr><tr><td>R5.5～R5.9</td><td>定員5人</td></tr><tr><td>R5.10～</td><td>定員6人</td></tr></table> ○短期入所施設の利用状況 <table><tr><th>項目/年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>契約者数</td><td>92人</td><td>97人</td><td>106人</td><td>107人</td><td>107人</td></tr><tr><td>利用延べ人員</td><td>97人</td><td>123人</td><td>172人</td><td>246人</td><td>347人</td></tr></table>	H28.7～H29.10	定員2人	H29.11～R5.1	定員3人	R5.2～R5.4	定員4人	R5.5～R5.9	定員5人	R5.10～	定員6人	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	契約者数	92人	97人	106人	107人	107人	利用延べ人員	97人	123人	172人	246人	347人	3 在宅移行後の容体悪化等に対する医療支援 ・在宅移行後の容体悪化等に対しては、かかりつけ医療機関への受診及び当センターでの救急医療や入院治療等の体制を整備しており、安心して在宅生活が出来るよう医療支援ができた。	IV	在宅療養の増加を踏まえ、介護の負担軽減と良好な療養環境の提供のため、6床の短期入所定員数を維持し利用率が増加している等、項目全体として特に進捗していると評価。
H28.7～H29.10	定員2人																																
H29.11～R5.1	定員3人																																
R5.2～R5.4	定員4人																																
R5.5～R5.9	定員5人																																
R5.10～	定員6人																																
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																												
契約者数	92人	97人	106人	107人	107人																												
利用延べ人員	97人	123人	172人	246人	347人																												

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策 (●)	自己 評価	自己評価理由																																				
		<table border="1"> <tr> <td>利用延べ日数</td><td>465 日</td><td>541 日</td><td>809 日</td><td>1, 283 日</td><td>1, 541 日</td></tr> <tr> <td>利用率</td><td>42. 5%</td><td>49. 4%</td><td>70. 1%</td><td>64. 7%</td><td>70. 3%</td></tr> <tr> <td>予約率</td><td>85. 5%</td><td>78. 7%</td><td>82. 4%</td><td>73. 7%</td><td>80. 0%</td></tr> </table> 2 家族に対する在宅医療指導等の実施 ・重症心身障がい児の在宅移行に向けて、家族の障がいの受容や在宅療育に必要な技術等を指導するための教育入所用居室2室の確保や指導マニュアルの作成等、受入体制を整えた。 ・在宅生活を支援する地域の医療機関や福祉サービス事業者等との連携会議を2回開催され、在宅医療指導等実施施設として参加し、在宅移行への課題を解決して円滑な在宅移行を達成することができた。 ○教育入所受入数 <table border="1"> <tr> <td>項目/年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr> <tr> <td>実人数</td><td>2 人</td><td>3 人</td><td>1 人</td><td>3 人</td><td>4 人</td></tr> <tr> <td>延べ日数</td><td>126 日</td><td>220 日</td><td>58 日</td><td>151 日</td><td>414 日</td></tr> </table>	利用延べ日数	465 日	541 日	809 日	1, 283 日	1, 541 日	利用率	42. 5%	49. 4%	70. 1%	64. 7%	70. 3%	予約率	85. 5%	78. 7%	82. 4%	73. 7%	80. 0%	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	実人数	2 人	3 人	1 人	3 人	4 人	延べ日数	126 日	220 日	58 日	151 日	414 日			
利用延べ日数	465 日	541 日	809 日	1, 283 日	1, 541 日																																				
利用率	42. 5%	49. 4%	70. 1%	64. 7%	70. 3%																																				
予約率	85. 5%	78. 7%	82. 4%	73. 7%	80. 0%																																				
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																				
実人数	2 人	3 人	1 人	3 人	4 人																																				
延べ日数	126 日	220 日	58 日	151 日	414 日																																				

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期 目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立 自主性・効率性・透明性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。 ※ 組織体制の充実 医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 I C T（情報通信技術）などの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営効率の高い業務執行体制の充実を図ること。 ※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 医療需要の動向や経営状況の変化に迅速かつ的確に対応することができるよう、職員配置の在り方を検証し、弾力的に運用すること。
----------	--

	また、常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。 ※ 人事評価システムの運用 人事評価システムにより職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価し、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事制度の運用に努めること。 ※ 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した職員の確保及び育成により、専門性の向上を図ること。 ※ コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底 職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。 ※ 適切な情報管理 職員の情報セキュリティに対する意識向上やセキュリティ監視機能の充実・強化等、情報セキュリティ対策に努めること。
--	---

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																								
19	※ 組織体制の充実 1 組織体制の充実 2 アウトソーシングの導入等による合理化の推進 3 ICT（情報通信技術）の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実	3 ICT（情報通信技術）の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実 - 人事給与システムの活用や旅費計算ソフトにより、業務の効率化を図った。 - 令和3年4月に稼働開始した新人事給与システムにて、専用回線を利用したセキュリティの向上や給与計算等の処理時間の短縮を図った。また、職員の勤怠管理を適正に行うため、勤怠管理システム（タイムレコーダー）を継続した。 - COVID-19 に対応するため、各種研修会をオンデマンド形式で配信することができるシステムや小規模な会議等に対応できるオンライン会議システムを活用した。 - 事務部門における定型業務を自動化し、業務の負担軽減を図るため、RPAを導入した。各部署から洗い出した自動化可能な74業務のうち、18業務がツールによって自動化された。 - 定年を迎えた事務職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用及び定年延長し、質の高い業務執行に努めた。 ○事務職員再雇用職員数 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再雇用</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>7</td><td>7</td></tr> <tr> <td>定年延長</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>8</td><td>9</td><td>9</td><td>8</td><td>8</td></tr> </tbody> </table>	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	再雇用	8	8	8	7	7	定年延長	0	1	1	1	1	合計	8	9	9	8	8	1 組織体制の充実 - 南棟の建設により、業務スペースの確保も可能となったことから、放射線治療品質管理業務を主務とする「放射線治療品質管理担当」のを新設した。 - 施設基準において、組織上明確に位置づけられていることが求められている「術後疼痛管理部」を新設した。 - 医師の負担軽減に向けたタスク・シフト／シェアを推進するため、診療看護師（NP／ナース・プラクティショナー）が所属する「NP 部」を新設した。 2 アウトソーシングの導入等による合理化の推進 - 施設管理部門（設備管理、清掃、防災他）、情報システム関連部門や医業部門（給食、医事業務、洗濯業務他）の専門的スキルを必要とする部門について、アウトソーシングを継続し、業務の合理化を図った。 - 入院セット提供業務及び COVID-19 感染防止の方策として実施していた病院正面玄関における検温業務を継続し、業務の効率化を図った。 - 医事業務のうち入院診療費算定業務については、精度を高めることを目的として一部委託業務から派遣業務に切り替えを行い、直接業務管理を継続した。 - 導入したアウトソーシングについては、必要に応じて委託内容や方法の見直しを実施した。	IV	事務部門における業務負担軽減に向けてRPAを導入し、一部の業務を自動化できたことに加え、NP 部の新設等、将来に向けた組織体制の充実が図られており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																								
再雇用	8	8	8	7	7																								
定年延長	0	1	1	1	1																								
合計	8	9	9	8	8																								

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																																				
20	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 1 人員配置の検証及び弾力的運用 2 効果的な体制による医療の提供	1 人員配置の検証及び弾力的運用 ・平成27年度をベースとした各職種の職員1人あたりの医業収入推移を検証し、医療需要と経営状況のバランスを検討した上で、各職種の人員配置を弾力的に行った。 ○各職種の職員1人あたりの医業収入 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td><td>98.1</td><td>107.3</td><td>105.4</td><td>106.0</td><td>109.8</td></tr> <tr> <td>看護師</td><td>95.1</td><td>102.1</td><td>105.1</td><td>104.8</td><td>108.2</td></tr> <tr> <td>薬剤師</td><td>120.1</td><td>119.4</td><td>132.5</td><td>135.1</td><td>140.1</td></tr> <tr> <td>臨床検査技師</td><td>81.7</td><td>94.7</td><td>93.2</td><td>82.5</td><td>83.6</td></tr> <tr> <td>放射線技師</td><td>81.5</td><td>80.8</td><td>74.8</td><td>66.3</td><td>65.4</td></tr> <tr> <td>リハビリ技師</td><td>78.2</td><td>77.7</td><td>71.7</td><td>77.5</td><td>78.3</td></tr> <tr> <td>管理栄養士</td><td>114.0</td><td>106.9</td><td>97.3</td><td>109.4</td><td>108.2</td></tr> <tr> <td>臨床工学技士</td><td>39.1</td><td>42.4</td><td>32.5</td><td>33.6</td><td>36.0</td></tr> </tbody> </table> ※数値は平成27年度をベースとした伸び率	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	医師	98.1	107.3	105.4	106.0	109.8	看護師	95.1	102.1	105.1	104.8	108.2	薬剤師	120.1	119.4	132.5	135.1	140.1	臨床検査技師	81.7	94.7	93.2	82.5	83.6	放射線技師	81.5	80.8	74.8	66.3	65.4	リハビリ技師	78.2	77.7	71.7	77.5	78.3	管理栄養士	114.0	106.9	97.3	109.4	108.2	臨床工学技士	39.1	42.4	32.5	33.6	36.0	2 効果的な体制による医療の提供 ・ドクターズアシスタント（医師事務作業補助者）数の定着に向け、人員配置のバックアップ体制を維持した。 ・総合サポートセンターに引き続き3名のドクターズアシスタントを配置し、入院診療に必要な代行オーダーの入力等、医師が実施していた業務のタスク・シフトを図った。 ○医師・看護師事務作業補助者数（年度末時点） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドクターズアシスタント</td><td>55</td><td>61</td><td>52</td><td>55</td><td>55</td></tr> <tr> <td>病棟外来看護事務</td><td>26</td><td>24</td><td>26</td><td>26</td><td>28</td></tr> <tr> <td>看護助手</td><td>71</td><td>71</td><td>67</td><td>72</td><td>71</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>152</td><td>156</td><td>145</td><td>153</td><td>154</td></tr> </tbody> </table>	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	ドクターズアシスタント	55	61	52	55	55	病棟外来看護事務	26	24	26	26	28	看護助手	71	71	67	72	71	合計	152	156	145	153	154	IV	職種別の職員1人あたりの医業収入を検証し、柔軟な人員配置ができていることに加え、補助者による業務のタスク・シフトが進められており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																				
医師	98.1	107.3	105.4	106.0	109.8																																																																																				
看護師	95.1	102.1	105.1	104.8	108.2																																																																																				
薬剤師	120.1	119.4	132.5	135.1	140.1																																																																																				
臨床検査技師	81.7	94.7	93.2	82.5	83.6																																																																																				
放射線技師	81.5	80.8	74.8	66.3	65.4																																																																																				
リハビリ技師	78.2	77.7	71.7	77.5	78.3																																																																																				
管理栄養士	114.0	106.9	97.3	109.4	108.2																																																																																				
臨床工学技士	39.1	42.4	32.5	33.6	36.0																																																																																				
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																				
ドクターズアシスタント	55	61	52	55	55																																																																																				
病棟外来看護事務	26	24	26	26	28																																																																																				
看護助手	71	71	67	72	71																																																																																				
合計	152	156	145	153	154																																																																																				
21	※ 人事評価システムの運用 1 人事評価システムによる公平かつ客観的な人事制度の運用	1 人事評価システムによる公平かつ客観的な人事制度の運用 ・人事評価システムにより職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価し、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事制度の運用に努めた。 ・目標評価については、目標の困難度と達成度を判定することにより、公平かつ客観的な評価を図った。また、6月支給の勤勉手当において、目標評価の成績優秀者にはその結果を手当に反映した。		IV	評価に応じて手当を支給する等、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事制度が運用できており、特に進捗していると評価。																																																																																				
22	※ 事務部門の専門性の向上 1 事務部門職員の確保及び育成	1 事務部門職員の確保及び育成 ・専門性の向上のため、職務に関連する研修の実施や資格取得を支援する「事務局職員人材育成計画」に沿って、医療経営士の資格取得に向けた研修を受講させた。 ○事務職員の状況（年度末時点） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td><td>67</td><td>67</td><td>67</td><td>70</td><td>68</td></tr> <tr> <td>うち、診療情報管理士</td><td>10</td><td>9</td><td>9</td><td>10</td><td>10</td></tr> </tbody> </table>	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	プロパー職員	67	67	67	70	68	うち、診療情報管理士	10	9	9	10	10		IV	病院運営や専門的な知識を有するプロパー職員の育成や人材育成計画の遂行等、特に進捗していると評価。																																																																		
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																				
プロパー職員	67	67	67	70	68																																																																																				
うち、診療情報管理士	10	9	9	10	10																																																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ <i>評価結果の反映状況</i>	その他の主な取組み／ <i>課題及びその改善策（●）</i>	自己 評価	<i>自己評価理由</i>																																														
		<table border="1"> <tr> <td>うち、医療経営士</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr> <td>うち、院内がん登録実務 中級認定者</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr> <td>県派遣職員</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>70</td><td>69</td><td>69</td><td>72</td><td>70</td></tr> </table>	うち、医療経営士	2	2	2	3	3	うち、院内がん登録実務 中級認定者	2	2	2	2	2	県派遣職員	3	2	2	2	2	合計	70	69	69	72	70																									
うち、医療経営士	2	2	2	3	3																																														
うち、院内がん登録実務 中級認定者	2	2	2	2	2																																														
県派遣職員	3	2	2	2	2																																														
合計	70	69	69	72	70																																														
23	※ コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底 1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底	1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底 - 新規採用職員に対して個人情報保護に関する研修を行った。 - 全職員を対象にした個人情報保護に関する研修をオンデマンド形式で複数回実施し、トータルで1,568人が参加、受講率100%となった。 - 医療倫理に関する研修をオンデマンド形式で配信し、1,301人の職員の参加を得た。 ○各種研修受講状況 <table border="1"> <tr> <th>項目/年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td rowspan="2">個人情報保護</td><td>1,055</td><td>996</td><td>1,192</td><td>1,569</td><td>1,568</td></tr> <tr> <td>70.9</td><td>67.1</td><td>82.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr> <tr> <td rowspan="2">医療倫理</td><td>1,380</td><td>1,430</td><td>1,415</td><td>1,451</td><td>1,301</td></tr> <tr> <td>99.6</td><td>99.9</td><td>97.5</td><td>97.8</td><td>82.9</td></tr> </table> ※上段：受講延べ数（単位：人）、下段：受講率（単位：%） - 監事監査（隔月実施）、会計監査人監査（年4回実施）及び内部監査の実施により、コンプライアンスを徹底した。 - 患者や家族からの請求による個人情報の開示を適切に行った。 ○カルテ開示請求・開示件数 単位：件 <table border="1"> <tr> <th>項目/年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> <tr> <td>請求件数</td><td>185</td><td>244</td><td>226</td><td>228</td><td>211</td></tr> <tr> <td>開示件数</td><td>180</td><td>234</td><td>223</td><td>217</td><td>203</td></tr> </table>	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	個人情報保護	1,055	996	1,192	1,569	1,568	70.9	67.1	82.0	100.0	100.0	医療倫理	1,380	1,430	1,415	1,451	1,301	99.6	99.9	97.5	97.8	82.9	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	請求件数	185	244	226	228	211	開示件数	180	234	223	217	203		IV	個人情報や医療倫理に関する研修をオンデマンドで配信し、多くの職員の参加を得ており、特に進捗していると評価。
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																														
個人情報保護	1,055	996	1,192	1,569	1,568																																														
	70.9	67.1	82.0	100.0	100.0																																														
医療倫理	1,380	1,430	1,415	1,451	1,301																																														
	99.6	99.9	97.5	97.8	82.9																																														
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																														
請求件数	185	244	226	228	211																																														
開示件数	180	234	223	217	203																																														
24	※ 適切な情報管理	2 情報セキュリティに対する意識向上 新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施するととも	1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等 情報セキュリティ監視機能として、情報ネットワークのセキュ	IV	サイバーインシデント対応研修を実施する等。																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由
	1 情報セキュリティ監視機能の 充実・強化等 2 情報セキュリティに対する意 識向上	に、「情報セキュリティ通信」及び情報セキュリティに関する周知文書を随時発行することにより全職員への啓発を行い、情報セキュリティ意識の向上を図った。 ・サイバーセキュリティ対策について、岐阜県警、岐阜県医療整備課と合同で、サイバーインシデント対応研修を1月に実施した。病院長をはじめ、医師、看護師、コメディカル、事務等合計43人が参加し、サイバーインシデントの現状を把握すると共に、実際にサイバー攻撃を受け、電子カルテシステムが利用できないことを想定した初動訓練を実施した。	リティ対策、USB メモリ等のデバイス制御、メールのウイルスチェック等のセキュリティ対策の適正な維持・管理を行った。		サイバーセキュリティ対策について特に進捗していると評価。

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。 ※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。 ※ 収入の確保 病床利用率など収入確保につながる数値目標を設定し、地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、その達成を図ること。 また、未収金の発生防止や早期回収等により、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。 ※ 費用の削減 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の採用などにより費用の節減に努めること。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由
25	※ 多様な契約手法の導入 1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施	1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施 ・経営分析等を行うことで、薬品や診療材料の購入価格や委託業務の複数年契約等の経営改善すべき点の把握に努め、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。 ・複数メーカーの機種選定を進め、ベンチマークを活用した交渉による医療機器の購入を行い、当初の予定金額より年間約7千万円のコスト削減ができた。		IV	複数メーカーによる機種選定やベンチマークを活用した価格交渉等によるコスト削減が実施できており、特に

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理 由																																																																																																								
		・診療材料について、ベンチマークを活用して新規採用品目の価格を抑えるとともに、既存使用品目も継続して価格交渉を行い、節減効果を維持した。 ・医薬品について、経費圧縮等に関するアドバイザーの活用により、継続的な価格交渉を行い、経費削減を図った。 ・複数年契約が終了する一部の業務委託において、その評価を行うとともに、経営的にメリットのある契約手法を検討し、次期契約の締結を行った。 ○複数年契約の推移 単位：件 <table><tr><td>項目/年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>契約数</td><td>16</td><td>21</td><td>36</td><td>20</td><td>37</td></tr></table>	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	契約数	16	21	36	20	37			進捗していると評価。																																																																																												
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																								
契約数	16	21	36	20	37																																																																																																								
26	※ 収入の確保 1 効果的な病床管理及び医療機器の効率的な活用 2 医療資源を最大限活用した施設基準等の適正管理 3 未収金の発生防止対策等 4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応 5 効率的な資金運用	2 医療資源を最大限活用した施設基準等の適正管理 ・地域医療支援病院入院診療加算（紹介率：50%以上、逆紹介率：70%以上）の算定基準（要件）を大幅に超えることができた。 ・DPC 特定病院群の各種要件（診療密度、外保連指数、内保連疾患割合）について、毎月状況を確認し、各数値の維持に努めた。 ○各種指標の推移<table><tr><td>項目/年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>紹介率</td><td>70.0%</td><td>71.9%</td><td>67.2%</td><td>74.3%</td><td>78.3%</td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>97.6%</td><td>110.5%</td><td>107.9%</td><td>111.2%</td><td>114.2%</td></tr><tr><td>診療密度</td><td>1,329.9</td><td>1,427.4</td><td>1,378.9</td><td>1,408.9</td><td>1,417.1</td></tr><tr><td>外保連指数</td><td>15.52</td><td>15.53</td><td>15.63</td><td>15.45</td><td>15.74</td></tr><tr><td>内保連疾患割合</td><td>2.4%</td><td>3.1%</td><td>2.8%</td><td>2.6%</td><td>2.9%</td></tr></table> 3 未収金の発生防止対策等 ＜発生防止＞ ・入院説明の際に、入院決定時に概算費用の提示や福祉制度の説明等を行った。また、入院患者には原則として限度額認定証の提示を求めていることを説明し、その手続きを依頼した。 ・救急搬送患者に対しては、医療相談員が身元確認、保険確認を早期に行い、医療保険制度の活用を紹介するなど高額な患者負担額とならないよう努めた。 ・出産に伴う入院費については、出産一時金直接払制度を利用していただくよう徹底を図った。制度の利用が困難な事案については、医療相談員が早	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	紹介率	70.0%	71.9%	67.2%	74.3%	78.3%	逆紹介率	97.6%	110.5%	107.9%	111.2%	114.2%	診療密度	1,329.9	1,427.4	1,378.9	1,408.9	1,417.1	外保連指数	15.52	15.53	15.63	15.45	15.74	内保連疾患割合	2.4%	3.1%	2.8%	2.6%	2.9%	1 効果的な病床管理及び医療機器の効率的な活用 ・病床管理部を中心として適切な病床管理による病床利用率の向上に努めたが、新規入院患者数の減少等により、病床利用率の目標値（87%）は達成できなかった。 ○収入関係数値<table><tr><td></td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td rowspan="4">外 来</td><td>患者数（人）</td><td>310,685</td><td>335,788</td><td>345,196</td><td>342,661</td><td>343,568</td></tr><tr><td>平均患者数（人/日）</td><td>1,279</td><td>1,388</td><td>1,421</td><td>1,410</td><td>1,413</td></tr><tr><td>診療額（百万円）</td><td>5,918</td><td>6,445</td><td>6,624</td><td>6,860</td><td>7,468</td></tr><tr><td>診療単価（円/日）</td><td>19,050</td><td>19,194</td><td>19,189</td><td>20,021</td><td>21,739</td></tr><tr><td rowspan="5">入 院</td><td>患者数（人）</td><td>173,389</td><td>184,225</td><td>178,114</td><td>178,549</td><td>182,333</td></tr><tr><td>平均患者数（人/日）</td><td>475</td><td>505</td><td>480</td><td>487</td><td>499</td></tr><tr><td>診療額（百万円）</td><td>15,324</td><td>17,223</td><td>17,090</td><td>17,421</td><td>17,781</td></tr><tr><td>診療単価（円/日）</td><td>88,379</td><td>93,486</td><td>95,953</td><td>97,575</td><td>97,521</td></tr><tr><td>在院日数（日）</td><td>11.6</td><td>11.3</td><td>10.6</td><td>10.2</td><td>10.6</td></tr><tr><td>病床利用率（%）</td><td>76.6</td><td>81.4</td><td>78.7</td><td>78.7</td><td>80.6</td></tr></table> ※病床利用率 分子：延べ入院患者数（＝各24時時点の在院患者数＋退院患者数）		R2	R3	R4	R5	R6	外 来	患者数（人）	310,685	335,788	345,196	342,661	343,568	平均患者数（人/日）	1,279	1,388	1,421	1,410	1,413	診療額（百万円）	5,918	6,445	6,624	6,860	7,468	診療単価（円/日）	19,050	19,194	19,189	20,021	21,739	入 院	患者数（人）	173,389	184,225	178,114	178,549	182,333	平均患者数（人/日）	475	505	480	487	499	診療額（百万円）	15,324	17,223	17,090	17,421	17,781	診療単価（円/日）	88,379	93,486	95,953	97,575	97,521	在院日数（日）	11.6	11.3	10.6	10.2	10.6	病床利用率（%）	76.6	81.4	78.7	78.7	80.6	IV	未収金回収や各種施設基準の要件確認が確実に実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																								
紹介率	70.0%	71.9%	67.2%	74.3%	78.3%																																																																																																								
逆紹介率	97.6%	110.5%	107.9%	111.2%	114.2%																																																																																																								
診療密度	1,329.9	1,427.4	1,378.9	1,408.9	1,417.1																																																																																																								
外保連指数	15.52	15.53	15.63	15.45	15.74																																																																																																								
内保連疾患割合	2.4%	3.1%	2.8%	2.6%	2.9%																																																																																																								
	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																								
外 来	患者数（人）	310,685	335,788	345,196	342,661	343,568																																																																																																							
	平均患者数（人/日）	1,279	1,388	1,421	1,410	1,413																																																																																																							
	診療額（百万円）	5,918	6,445	6,624	6,860	7,468																																																																																																							
	診療単価（円/日）	19,050	19,194	19,189	20,021	21,739																																																																																																							
入 院	患者数（人）	173,389	184,225	178,114	178,549	182,333																																																																																																							
	平均患者数（人/日）	475	505	480	487	499																																																																																																							
	診療額（百万円）	15,324	17,223	17,090	17,421	17,781																																																																																																							
	診療単価（円/日）	88,379	93,486	95,953	97,575	97,521																																																																																																							
	在院日数（日）	11.6	11.3	10.6	10.2	10.6																																																																																																							
病床利用率（%）	76.6	81.4	78.7	78.7	80.6																																																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理 由																																																																																																																																																																		
		期に介入し、退院時の支払いが出来るよう支援を行った。 <回収> - 毎月3回、定期的に督促状を發布し、早期に未収金回収に着手した。 - 督促状發布後、随時催告状を発送するとともに必要に応じ夜間電話催告や臨宅催告を行った。 - 未納者が受診した際には、面談による納付催告を実施した。 - 回収困難な未収金について、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げた。 - 診療費を分納により支払っている患者について、令和2年8月より直接納付から金融機関口座振替への切替えを進める取組みを継続し、確実な収納に努めた。 ○回収実績（年度末現在） <table><tr><th>項目/年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>累積委託金額 (単位：千円)</td><td>199,628</td><td>201,662</td><td>205,233</td><td>215,571</td><td>232,538</td></tr><tr><td>累積回収金額 (単位：千円)</td><td>91,071</td><td>94,062</td><td>96,006</td><td>99,224</td><td>102,093</td></tr><tr><td>累積回収率 (単位：%)</td><td>45.6</td><td>46.6</td><td>46.8</td><td>46.0</td><td>43.9</td></tr><tr><td>単年度回収金額 (単位：千円)</td><td>5,766</td><td>2,986</td><td>1,943</td><td>3,219</td><td>2,868</td></tr></table> ○未収金発生状況（翌年度5月末現在） <table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">R2</th><th colspan="2">R3</th><th colspan="2">R4</th><th colspan="2">R5</th><th colspan="2">R6</th></tr><tr><th>件数</th><th>金額 (千円)</th><th>件数</th><th>金額 (千円)</th><th>件数</th><th>金額 (千円)</th><th>件数</th><th>金額 (千円)</th><th>件数</th><th>金額 (千円)</th></tr><tr><td>過年度分</td><td>348</td><td>42,633</td><td>289</td><td>38,748</td><td>386</td><td>24,469</td><td>485</td><td>43,583</td><td>563</td><td>48,010</td></tr><tr><td>現年度分</td><td>232</td><td>15,183</td><td>281</td><td>22,686</td><td>332</td><td>41,398</td><td>302</td><td>22,454</td><td>257</td><td>12,447</td></tr><tr><td>合計</td><td>580</td><td>57,816</td><td>570</td><td>61,434</td><td>718</td><td>65,867</td><td>787</td><td>66,037</td><td>820</td><td>60,457</td></tr></table>	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	累積委託金額 (単位：千円)	199,628	201,662	205,233	215,571	232,538	累積回収金額 (単位：千円)	91,071	94,062	96,006	99,224	102,093	累積回収率 (単位：%)	45.6	46.6	46.8	46.0	43.9	単年度回収金額 (単位：千円)	5,766	2,986	1,943	3,219	2,868		R2		R3		R4		R5		R6		件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	過年度分	348	42,633	289	38,748	386	24,469	485	43,583	563	48,010	現年度分	232	15,183	281	22,686	332	41,398	302	22,454	257	12,447	合計	580	57,816	570	61,434	718	65,867	787	66,037	820	60,457	分母：運用病床数×日数 - 登録医からの FAX による MRI、CT、胃カメラ等の検査予約を実施した。 ○FAX による検査予約実績 単位：件 <table><tr><th>項目/年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>FAX 予約</td><td>794</td><td>863</td><td>531</td><td>426</td><td>542</td></tr></table> ○検査件数 単位：件 <table><tr><th>年度/項目</th><th>CT 外来</th><th>CT 入院</th><th>MRI 外来</th><th>MRI 入院</th></tr><tr><td>R2</td><td>34,281</td><td>6,247</td><td>12,168</td><td>1,991</td></tr><tr><td>R3</td><td>36,732</td><td>6,669</td><td>12,304</td><td>1,680</td></tr><tr><td>R4</td><td>35,665</td><td>7,160</td><td>12,675</td><td>1,508</td></tr><tr><td>R5</td><td>35,904</td><td>6,495</td><td>12,489</td><td>1,421</td></tr><tr><td>R6</td><td>36,862</td><td>6,738</td><td>12,466</td><td>1,486</td></tr></table> - 手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用や手術機材のキット化により手術待ち時間や手術準備時間の短縮を図る取組みを継続した。 ○時間内手術室稼働率・総手術件数 <table><tr><th>項目/年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>稼働率（単位：%）</td><td>69.3</td><td>73.5</td><td>73.5</td><td>69.3</td><td>68.9</td></tr><tr><td>件数（単位：件）</td><td>6,906</td><td>7,433</td><td>7,602</td><td>8,106</td><td>8,106</td></tr></table> - 他院とのベンチマークや医療安全の観点から、外科の術後患者を ICU 経由とすることなどにより、ICU の稼働率は高い数値を維持できた。 ○ICU 稼働率・算定率 単位：% <table><tr><th>項目/年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>稼働率</td><td>78.2</td><td>99.5</td><td>100.1</td><td>96.4</td><td>95.9</td></tr><tr><td>算定率</td><td>70.6</td><td>75.7</td><td>82.2</td><td>75.0</td><td>87.3</td></tr></table> 4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応 - 次期診療報酬改定の内容の早期把握に努め、事前に算定シミュレーション	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	FAX 予約	794	863	531	426	542	年度/項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院	R2	34,281	6,247	12,168	1,991	R3	36,732	6,669	12,304	1,680	R4	35,665	7,160	12,675	1,508	R5	35,904	6,495	12,489	1,421	R6	36,862	6,738	12,466	1,486	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	稼働率（単位：%）	69.3	73.5	73.5	69.3	68.9	件数（単位：件）	6,906	7,433	7,602	8,106	8,106	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	稼働率	78.2	99.5	100.1	96.4	95.9	算定率	70.6	75.7	82.2	75.0	87.3		
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																																		
累積委託金額 (単位：千円)	199,628	201,662	205,233	215,571	232,538																																																																																																																																																																		
累積回収金額 (単位：千円)	91,071	94,062	96,006	99,224	102,093																																																																																																																																																																		
累積回収率 (単位：%)	45.6	46.6	46.8	46.0	43.9																																																																																																																																																																		
単年度回収金額 (単位：千円)	5,766	2,986	1,943	3,219	2,868																																																																																																																																																																		
	R2		R3		R4		R5		R6																																																																																																																																																														
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)																																																																																																																																																													
過年度分	348	42,633	289	38,748	386	24,469	485	43,583	563	48,010																																																																																																																																																													
現年度分	232	15,183	281	22,686	332	41,398	302	22,454	257	12,447																																																																																																																																																													
合計	580	57,816	570	61,434	718	65,867	787	66,037	820	60,457																																																																																																																																																													
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																																		
FAX 予約	794	863	531	426	542																																																																																																																																																																		
年度/項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院																																																																																																																																																																			
R2	34,281	6,247	12,168	1,991																																																																																																																																																																			
R3	36,732	6,669	12,304	1,680																																																																																																																																																																			
R4	35,665	7,160	12,675	1,508																																																																																																																																																																			
R5	35,904	6,495	12,489	1,421																																																																																																																																																																			
R6	36,862	6,738	12,466	1,486																																																																																																																																																																			
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																																		
稼働率（単位：%）	69.3	73.5	73.5	69.3	68.9																																																																																																																																																																		
件数（単位：件）	6,906	7,433	7,602	8,106	8,106																																																																																																																																																																		
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																																																																																																																																		
稼働率	78.2	99.5	100.1	96.4	95.9																																																																																																																																																																		
算定率	70.6	75.7	82.2	75.0	87.3																																																																																																																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理 由																																																												
		5 効率的な資金運用 ・年度末支払い等の支払いのため、保有債券の8億円分を売却した。 ・保有している債券から発生した今年度の利息は、約7千万円だった。	等を幹部職員へ説明、提示することで、病院としての方向性を早期に決定できた。																																																														
27	※ 費用の削減 1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底 2 後発医薬品等の使用促進 3 経費の削減	1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底 ・医薬品については、アドバイザー活用による情報収集により価格交渉を実施し、年間薬価差益が約2億4千万円となった。 ・診療材料については、ベンチマークを活用して価格交渉を実施し、当初の予定金額より年間約7,600万円のコスト削減ができた。 ・各部署における診療材料の定数配置について、継続的に品目及び数量の見直しを行い、効率的な管理を推進した。 ○医薬収益に対する材料費比率 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料費比率 ※</td><td>30.4</td><td>30.9</td><td>30.7</td><td>31.4</td><td>32.0</td></tr> <tr> <td>（うち薬品費）</td><td>16.2</td><td>16.2</td><td>16.4</td><td>16.6</td><td>17.7</td></tr> <tr> <td>（うち診療材料費）</td><td>14.2</td><td>14.6</td><td>14.3</td><td>14.8</td><td>14.3</td></tr> </tbody> </table> ※重症心身障がい児施設を除く 3 経費の削減 ・無駄な電気利用を抑制するため、空調・照明の管理スケジュールの変更、空調の温度設定の見直し等のシステム的な対応を行った。 ・電気使用量の削減を目的に、階段照明及び外来駐車場等のLED化工事を実施した。なお、階段照明に関しては、省エネ対策として有効な人感センサーライトを採用した。 ・令和6年度には、委託費等の経費削減を目的としたローコストオペレーションコンサルティング契約を締結し、業者との交渉の結果、年間約700万円の削減効果を得た。 ○経費関連数値の年度推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経費率（単位：％）</td><td>15.8</td><td>15.2</td><td>16.7</td><td>15.8</td><td>15.8</td></tr> <tr> <td>光熱水費（単位：百万円）</td><td>322</td><td>359</td><td>636</td><td>462</td><td>547</td></tr> </tbody> </table>	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	材料費比率 ※	30.4	30.9	30.7	31.4	32.0	（うち薬品費）	16.2	16.2	16.4	16.6	17.7	（うち診療材料費）	14.2	14.6	14.3	14.8	14.3	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	経費率（単位：％）	15.8	15.2	16.7	15.8	15.8	光熱水費（単位：百万円）	322	359	636	462	547	2 後発医薬品等の使用促進 ・先発医薬品から後発医薬品に、院内コンセンサスを得ながら切替えを促進した。 ・院外処方箋については、医師に一般名処方の利用を啓発し、薬局での後発医薬品の使用促進に寄与した。 ○後発医薬品関連の数値 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品使用率※</td><td>87.7</td><td>87.8</td><td>87.7</td><td>89.2</td><td>90.9</td></tr> <tr> <td>一般名処方率</td><td>12.4</td><td>16.2</td><td>18.8</td><td>22.6</td><td>23.0</td></tr> </tbody> </table> ※〔後発医薬品の数量〕／〔〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕+〔後発医薬品の数量〕〕	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	後発医薬品使用率※	87.7	87.8	87.7	89.2	90.9	一般名処方率	12.4	16.2	18.8	22.6	23.0	IV	経費圧縮に関するアドバイザーを活用し、医薬品等の価格交渉を継続的に実施していることに加え、その他の項目も継続的な取組みが実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																												
材料費比率 ※	30.4	30.9	30.7	31.4	32.0																																																												
（うち薬品費）	16.2	16.2	16.4	16.6	17.7																																																												
（うち診療材料費）	14.2	14.6	14.3	14.8	14.3																																																												
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																												
経費率（単位：％）	15.8	15.2	16.7	15.8	15.8																																																												
光熱水費（単位：百万円）	322	359	636	462	547																																																												
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																												
後発医薬品使用率※	87.7	87.8	87.7	89.2	90.9																																																												
一般名処方率	12.4	16.2	18.8	22.6	23.0																																																												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

3 予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画

中期 目標	※ 経常収支比率等 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、経常収支比率100%以上を達成すること。 医業収支比率については、同規模の全国自治体病院の平均値等を参考に、適切な目標を定め達成すること。 ※ 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院の平均値等を参考に、適切な目標を定め達成すること。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																												
28	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率 100%以上、医業収支比率 100%以上及び職員給与費対医業収益比率 50%以下を達成する。		中期計画上の取組みを確実に実施し、業務運営の改善及び効率化を進めたことにより、経常収支比率 95.1%、医業収支比率 100.5%、職員給与費対医業収益比率 51.1%となり、医業収支比率のみ目標を達成することができた。 ○経常収支比率・医業収支比率・職員給与費対医業収益比率 単位：％ <table><tr><th>項目／年度</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>97.8</td><td>102.8</td><td>98.8</td><td>95.1</td><td>95.1</td></tr><tr><td>医業収支比率 ※</td><td>103.0</td><td>108.3</td><td>106.1</td><td>101.9</td><td>100.5</td></tr><tr><td>職員給与費対医業収益比率（人件費比率）※</td><td>54.2</td><td>49.6</td><td>51.7</td><td>51.4</td><td>51.1</td></tr></table> ※重症心身障がい児施設を除く ○決算（令和6年度） 単位：百万円 <table><tr><th>区 分</th><th>計画額</th><th>決算額</th><th>増減</th></tr><tr><td>収入</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td> 営業収益</td><td>27,800</td><td>27,693</td><td>▲107</td></tr><tr><td> 医業収益</td><td>25,696</td><td>25,427</td><td>▲269</td></tr><tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,679</td><td>1,760</td><td>81</td></tr></table>	項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6	経常収支比率	97.8	102.8	98.8	95.1	95.1	医業収支比率 ※	103.0	108.3	106.1	101.9	100.5	職員給与費対医業収益比率（人件費比率）※	54.2	49.6	51.7	51.4	51.1	区 分	計画額	決算額	増減	収入				営業収益	27,800	27,693	▲107	医業収益	25,696	25,427	▲269	運営費負担金収益	1,679	1,760	81	Ⅲ	経常収支比率 95.1%、医業収支比率 100.5%、職員給与費対医業収益比率 51.1%と、経常収支比率や職員給与費対医業収益比率は達成できなかったが、医業収支比率は達成できたため、平年並みの実績と評価。
項目／年度	R2	R3	R4	R5	R6																																												
経常収支比率	97.8	102.8	98.8	95.1	95.1																																												
医業収支比率 ※	103.0	108.3	106.1	101.9	100.5																																												
職員給与費対医業収益比率（人件費比率）※	54.2	49.6	51.7	51.4	51.1																																												
区 分	計画額	決算額	増減																																														
収入																																																	
営業収益	27,800	27,693	▲107																																														
医業収益	25,696	25,427	▲269																																														
運営費負担金収益	1,679	1,760	81																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）				自己 評価	自己評価理由
						</		

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策 (○)			自己 評価	自己評価理由
			収益の部	28,055	27,973	▲82	
			営業収益	27,874	27,743	▲131	
			医業収益	25,663	25,392	▲271	
			運営費負担金収益	1,679	1,756	77	
			資産見返負債戻入	115	100	▲15	
			重症心身障がい児施設収益	181	239	58	
			その他営業収益	233	254	21	
			営業外収益	180	204	24	
			運営費負担金収益	71	83	12	
			その他営業外収益	108	121	13	
			臨時利益	0	25	25	
			費用の部	29,030	29,405	375	
			営業費用	27,463	27,782	319	
			医業費用	26,570	26,929	359	
			給与費	12,659	12,583	▲76	
			材料費	7,761	8,115	354	
			減価償却費	2,094	2,118	24	
			経費	3,906	3,965	59	
			研究研修費	149	146	▲3	
			重症心身障がい児施設費用	437	402	▲35	
			給与費	357	326	▲31	
			材料費	17	18	1	
			減価償却費	0	0	0	
			経費	62	57	▲5	
			研究研修費	0	0	0	
			一般管理費	455	449	▲6	
			給与費	374	379	5	
			減価償却費	18	15	▲3	
			経費	61	54	▲7	
			営業外費用	1,566	1,593	27	
			臨時損失	0	29	29	
			予備費	0	0	0	
			純利益	▲975	▲1,431	▲456	
			目的積立金取崩額	0	0	0	
			総利益	▲975	▲1,431	▲456	

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																																																								
			(注) 各項目の数値は、端数をそれぞれ切り捨てている。そのため、各項目の数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。なお、増減額は表中の決算額－計画額で算出している。 ○資金計画に対する実績（令和6年度） 単位：百万円 <table><tr><th>区 分</th><th>計画額</th><th>決算額</th><th>増減</th></tr><tr><td>資金収入</td><td>32,514</td><td>31,112</td><td>▲1,402</td></tr><tr><td> 業務活動による収入</td><td>27,984</td><td>27,584</td><td>▲400</td></tr><tr><td> 診療業務による収入</td><td>25,877</td><td>25,486</td><td>▲391</td></tr><tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>1,751</td><td>1,843</td><td>92</td></tr><tr><td> その他の業務活動による収入</td><td>355</td><td>255</td><td>▲100</td></tr><tr><td> 投資活動による収入</td><td>1,931</td><td>802</td><td>▲1,129</td></tr><tr><td> 運営費負担金による収入</td><td>404</td><td>27</td><td>▲377</td></tr><tr><td> その他の投資活動による収入</td><td>1,526</td><td>775</td><td>▲751</td></tr><tr><td> 財務活動による収入</td><td>1,768</td><td>2,079</td><td>311</td></tr><tr><td> 長期借入による収入</td><td>1,019</td><td>1,332</td><td>313</td></tr><tr><td> その他の財務活動による収入</td><td>748</td><td>746</td><td>▲2</td></tr><tr><td> 前事業年度からの繰越金</td><td>829</td><td>646</td><td>▲183</td></tr><tr><td>資金支出</td><td>32,514</td><td>31,112</td><td>▲1,402</td></tr><tr><td> 業務活動による支出</td><td>26,370</td><td>26,520</td><td>150</td></tr><tr><td> 給与費支出</td><td>13,118</td><td>13,177</td><td>59</td></tr><tr><td> 材料費支出</td><td>8,555</td><td>8,961</td><td>406</td></tr><tr><td> その他の業務活動による支出</td><td>4,696</td><td>4,380</td><td>▲316</td></tr><tr><td> 投資活動による支出</td><td>3,321</td><td>2,186</td><td>▲1,135</td></tr><tr><td> 有形固定資産の取得による支出</td><td>3,290</td><td>2,083</td><td>▲1,207</td></tr><tr><td> その他の投資活動による支出</td><td>31</td><td>103</td><td>72</td></tr><tr><td> 財務活動による支出</td><td>1,394</td><td>1,470</td><td>76</td></tr></table>	区 分	計画額	決算額	増減	資金収入	32,514	31,112	▲1,402	業務活動による収入	27,984	27,584	▲400	診療業務による収入	25,877	25,486	▲391	運営費負担金による収入	1,751	1,843	92	その他の業務活動による収入	355	255	▲100	投資活動による収入	1,931	802	▲1,129	運営費負担金による収入	404	27	▲377	その他の投資活動による収入	1,526	775	▲751	財務活動による収入	1,768	2,079	311	長期借入による収入	1,019	1,332	313	その他の財務活動による収入	748	746	▲2	前事業年度からの繰越金	829	646	▲183	資金支出	32,514	31,112	▲1,402	業務活動による支出	26,370	26,520	150	給与費支出	13,118	13,177	59	材料費支出	8,555	8,961	406	その他の業務活動による支出	4,696	4,380	▲316	投資活動による支出	3,321	2,186	▲1,135	有形固定資産の取得による支出	3,290	2,083	▲1,207	その他の投資活動による支出	31	103	72	財務活動による支出	1,394	1,470	76		
区 分	計画額	決算額	増減																																																																																										
資金収入	32,514	31,112	▲1,402																																																																																										
業務活動による収入	27,984	27,584	▲400																																																																																										
診療業務による収入	25,877	25,486	▲391																																																																																										
運営費負担金による収入	1,751	1,843	92																																																																																										
その他の業務活動による収入	355	255	▲100																																																																																										
投資活動による収入	1,931	802	▲1,129																																																																																										
運営費負担金による収入	404	27	▲377																																																																																										
その他の投資活動による収入	1,526	775	▲751																																																																																										
財務活動による収入	1,768	2,079	311																																																																																										
長期借入による収入	1,019	1,332	313																																																																																										
その他の財務活動による収入	748	746	▲2																																																																																										
前事業年度からの繰越金	829	646	▲183																																																																																										
資金支出	32,514	31,112	▲1,402																																																																																										
業務活動による支出	26,370	26,520	150																																																																																										
給与費支出	13,118	13,177	59																																																																																										
材料費支出	8,555	8,961	406																																																																																										
その他の業務活動による支出	4,696	4,380	▲316																																																																																										
投資活動による支出	3,321	2,186	▲1,135																																																																																										
有形固定資産の取得による支出	3,290	2,083	▲1,207																																																																																										
その他の投資活動による支出	31	103	72																																																																																										
財務活動による支出	1,394	1,470	76																																																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）				自己 評価	自己評価理由		
					長期借入金の返済 による支出	1,003	1,080	77		
					移行前地方債償還 債務の償還による 支出	390	390	0		
					その他の財務活動 による支出	0	0	0		
					翌事業年度への繰越金	1,428	934	▲494		
			(注) 各項目の数値は、端数をそれぞれ切り捨てている。そのため、各項目の数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。なお、増減額は表中の決算額－計画額で算出している。							

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策 (●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 短期借入金の限度額 1 限度額 2 想定される短期借入金の発生理 由		1 限度額 ・10億円 2 想定される短期借入金の発生理 由 ・実績なし	一	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策 (●)	自己 評価	自己評価理由
—	なし		・ 該当なし	—	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策 (●)	自己 評価	自己評価理由
—	なし		・ 該当なし	—	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

7 剰余金の使途

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策 (●)	自己 評価	自己評価理由
—	※ 剰余金の使途		・ 該当なし	—	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期 目標	8-1 職員の勤務環境の向上	働き方改革を実現するため、労務管理を適正に行うとともに、医療従事者等職員の必要数確保、柔軟な勤務形態の導入、育児支援体制の充実など、職員の勤務環境の改善に取り組むこと。 特に、医師の業務負担軽減や労働時間短縮のため、タスク・シフティング（業務の移管）の推進等国の指針に基づいた取組を着実に実施すること。 また、職員の意見が反映される仕組みの充実を図り、病院で働く全ての職員が誇りを持って職責が果たせるよう、やりがいの創出に努めること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	医師の診療応援や人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備	新病棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案し、岐阜県総合医療センターとして担うべき機能の強化が図られるよう、計画的に実施すること。
	8-4 内部統制の充実強化	内部統制の充実強化を図るため、内部監査のほかモニタリングの結果を、リスクの評価・対応や法人の規程に適切に反映させるなど、内部統制の取組を着実に推進すること。 また、危機管理事案等発生時には、理事長のリーダーシップを発揮し迅速かつ適正に対応すること。
	8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実に行うこと。

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由
29	※ 職員の勤務環境の向上 1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実 2 働き方改革の実現に向けた取組 3 職員のモチベーション向上に資する取組	1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実 ・保育施設については、平成24年2月から24時間保育を継続している。また、病児・病後児保育施設の利用者についても、定員を増員したり、利用資格の拡大を実施したことで、多くの職員が利用できている。 ・ハラスメント防止に向けて、2つの院内相談窓口の設置や専用アドレスの運用を継続した。 ・女性職員が働きやすい労働環境への改善に向け、「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」にて、令和7年4月からの5カ年を期間とする次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画及び女性活躍推進法に基づく行動計画を策定した。 ・衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、現状把握と縮減に向けた啓発に努めた。 ・看護師のみならず医師やコメディカルについても、変形労働時間制による勤務を採用することにより、時間外勤務時間の縮減		IV	育児・介護との両立支援及び医師の働き方改革の推進に向けた取組み等、職員へのきめ細かい対応ができており、項目全体で特に進捗していると評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																															
		に努めた。 ・年10日以上の子休取得目標を病院全体で推進し、年次休暇の取得日数が芳しくない職員には個別に取得促進を指導した。 ○院内保育所の運営状況（年度末現在） ・入所施設（こばと）単位：人 <table><tr><td>項目/年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>入所者数</td><td>34</td><td>44</td><td>34</td><td>43</td><td>35</td></tr><tr><td>保育士数</td><td>16</td><td>18</td><td>18</td><td>19</td><td>19</td></tr></table> ・病児・病後児保育施設（パンピ）単位：人 <table><tr><td>項目/年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>延べ利用者数</td><td>86</td><td>169</td><td>156</td><td>387</td><td>317</td></tr><tr><td>保育士・看護師数</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td></tr></table> ○職員1人あたりの休暇、時間外勤務状況 <table><tr><td>項目/年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>年次有給休暇 （単位：日/年）</td><td>10.9</td><td>12.8</td><td>14.4</td><td>15.2</td><td>14.9</td></tr><tr><td>時間外勤務 （単位：時間/月）</td><td>11.9</td><td>13.1</td><td>12.7</td><td>11.6</td><td>10.9</td></tr></table> ※夏季休暇等の取得数も含む（令和2年度以前） ○医師1人あたりの時間外勤務状況 <table><tr><td>項目/年度</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>時間外勤務 （単位：時間/月）</td><td>40.91</td><td>41.04</td><td>42.38</td><td>40.30</td></tr></table> 2 働き方改革の実現に向けた取組 ・職員（医師除く）の労働時間の適正な把握に向けて、タイムレコーダー（IDカードによる打刻システム）を継続した。 ・医師の勤怠管理に向けてクラウド型システム（Dr. joy）により、ピーコンでの自動打刻及び時間外勤務時間や年次休暇等の休暇について電子申請（承認）を継続した。 ・医師の労働時間短縮に向け、「医師の働き方改革」に関するワーキ	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	入所者数	34	44	34	43	35	保育士数	16	18	18	19	19	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	延べ利用者数	86	169	156	387	317	保育士・看護師数	3	3	3	3	2	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	年次有給休暇 （単位：日/年）	10.9	12.8	14.4	15.2	14.9	時間外勤務 （単位：時間/月）	11.9	13.1	12.7	11.6	10.9	項目/年度	R3	R4	R5	R6	時間外勤務 （単位：時間/月）	40.91	41.04	42.38	40.30		
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																															
入所者数	34	44	34	43	35																																																															
保育士数	16	18	18	19	19																																																															
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																															
延べ利用者数	86	169	156	387	317																																																															
保育士・看護師数	3	3	3	3	2																																																															
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																															
年次有給休暇 （単位：日/年）	10.9	12.8	14.4	15.2	14.9																																																															
時間外勤務 （単位：時間/月）	11.9	13.1	12.7	11.6	10.9																																																															
項目/年度	R3	R4	R5	R6																																																																
時間外勤務 （単位：時間/月）	40.91	41.04	42.38	40.30																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策 (●)	自己 評価	自己評価理由
		「ンググループ」会議における議論を踏まえ策定した業務と自己研さんの区分に基づき、取り組んだ。 ・医師の負担軽減に向け、医師と医療支援部門職員との間でタスク・シフト／シェアを推進するとともに、随時項目の洗い出しを行った。 ・医師の業務負担軽減に向けたタスク・シフト／シェアを進めるため、ドクターズアシスタント（医師事務作業補助者）の定着に向け人員配置のバックアップ体制を維持し、勤務時間を延長する勤務体系等を活用することで、医師ニーズを満たした。 ・医師事務支援に係る幅広い知識とスキルを持ったドクターズアシスタントを評価するため、段階的な評価制度を継続した。 ・理事長が中心となり、定期的に近隣病院（岐阜市民病院・岐阜大学病院・松波総合病院）の幹部との情報交換会を開催し、取組状況の共有や諸課題等について議論した。 ・従来からの産業医（当院医師・副院長）による健康相談に加え、時間外・休日労働が100時間以上となる前に必要に応じて就業上の措置を講ずることを目的に、当該月の15日時点で時間外・休日労働時間が45時間を超えた医師を抽出し、面接指導（健康確保措置）を実施した。 ・勤務間インターバル確保（連続勤務時間制限）及び代償休息確保（健康確保措置）を可能とする勤務体制（予定勤務表の作成）となるよう、当直明けは原則休日とし、遅くとも正午には退勤するよう努めた。 ・病院ホームページに、「症状説明等（インフォームド・コンセント）の時間内実施」、「複数主治医制の導入」、「タスク・シフト／シェアの推進」について掲載（入院案内資料にも掲載）し、患者への周知に努めた。 3 職員のモチベーション向上に資する取組み ・人事評価制度により、公平かつ客観的な評価を図り、目標評価における成績優秀者にはその結果を手当に反映した。 ・職員提案箱を設置し、回収した意見を病院運営に反映した。			
30	※ 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携		・引き続き、岐阜県立衛生専門学校へ1名の派遣を行った。 ○職員の他法人への出向状況 単位：人	Ⅲ	継続的に取組みができているが、平年並みの実績と評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																																																
			<table><tr><td>項目/年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>看護師</td><td>(2)</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr><tr><td>コメディカル</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr><tr><td>合計</td><td>1 (2)</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table> ※（ ）は岐阜県への退職派遣者数《外数》 ○県及び他法人職員の受入状況 単位：人 <table><tr><td>項目/年度</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>看護師・助産師</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>コメディカル</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>合計</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr></table>	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	看護師	(2)	1	0	0	1	コメディカル	1	0	1	1	0	合計	1 (2)	1	1	1	1	項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6	看護師・助産師	1	0	0	0	0	コメディカル	0	0	0	0	0	合計	1	0	0	0	0		
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																
看護師	(2)	1	0	0	1																																																
コメディカル	1	0	1	1	0																																																
合計	1 (2)	1	1	1	1																																																
項目/年度	R2	R3	R4	R5	R6																																																
看護師・助産師	1	0	0	0	0																																																
コメディカル	0	0	0	0	0																																																
合計	1	0	0	0	0																																																
31	※ 施設・医療機器の整備 1 病棟などの施設などの計画的な整備 2 医療機器の計画的な更新・整備		1 病棟等などの施設等の計画的な整備 ・南棟に本館内の一部機能が移転したことにより発生した本館内の跡地整備として、搬送システムの導入及びそれに伴う業務効率化を目的とした中央検査部の拡張工事、外来の待ち時間の短縮や診療環境の改善等を目的とした診察室の増設工事（内科系、産婦人科）を実施した。 ・先に策定した設備更新計画に基づき、老朽化した設備の更新を計画的に実施した。 2 医療機器の計画的な更新・整備 ・医療機器について、更新計画の見直しを行い、計画的な整備を実施した。 ・COVID-19 の対応に必要な医療機器を迅速に納入した。 ○医療機器・施設整備に関する総投資額 <table><tr><td></td><td>投資額</td><td>財 源</td></tr><tr><td rowspan="2">病院施設、医療機器等整備</td><td>1,332 百万円</td><td>設立団体からの長期借入金等</td></tr><tr><td>2 百万円</td><td>COVID-19 関連の補助金</td></tr></table>		投資額	財 源	病院施設、医療機器等整備	1,332 百万円	設立団体からの長期借入金等	2 百万円	COVID-19 関連の補助金	Ⅲ	継続的に取組みができているが、平年並みの実績と評価。																																								
	投資額	財 源																																																			
病院施設、医療機器等整備	1,332 百万円	設立団体からの長期借入金等																																																			
	2 百万円	COVID-19 関連の補助金																																																			

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策（●）	自己 評価	自己評価理由																														
32	※ 内部統制の充実強化 1 内部統制の取組 2 内部統制に対する監査及び評価 3 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化		1 内部統制の取組 ・内部監査やリスク評価等の結果を法人規程、マニュアル、手順書等に適切に反映させ、継続的に見直しを行うことで、内部統制の充実強化を図った。 2 内部統制に対する監査及び評価 ・業務監査では契約業務の手順、選定、金額設計が適切に実施されているかを確認した。 ・会計監査では監査対象勘定科目の残高管理が正しくできているかを確認した。 ・元研修医逮捕事案を受けて内部統制委員会を開催し、事案の再発防止策を策定し、令和6年6月に病院ホームページに掲載し公表した。 3 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化 ・災害時における初動体制（災害対策本部の立ち上げ等）について、災害対策マニュアルに基づき、机上訓練により確認した。	Ⅲ	継続的に取組みができているが、平年並みの実績と評価。																														
33	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		・法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に実施した。 ○債務の償還状況（合計） 単位：百万円 <table><tr><th>年度</th><th>実績</th><th>計画</th></tr><tr><td>令和2年</td><td>1,587</td><td>1,587</td></tr><tr><td>令和3年</td><td>923</td><td>923</td></tr><tr><td>令和4年</td><td>922</td><td>922</td></tr><tr><td>令和5年</td><td>1,976</td><td>1,976</td></tr><tr><td>令和6年</td><td>1,470</td><td>1,354</td></tr><tr><td>中期計画期間計</td><td>6,878</td><td>6,762</td></tr><tr><td>第2期計（参考）</td><td>6,312</td><td>6,312</td></tr><tr><td>第1期計（参考）</td><td>10,826</td><td>10,826</td></tr></table> ＜内訳＞ ○移行前地方債償還債務 単位：百万円 <table><tr><th>年度</th><th>実績</th><th>計画</th></tr></table>	年度	実績	計画	令和2年	1,587	1,587	令和3年	923	923	令和4年	922	922	令和5年	1,976	1,976	令和6年	1,470	1,354	中期計画期間計	6,878	6,762	第2期計（参考）	6,312	6,312	第1期計（参考）	10,826	10,826	年度	実績	計画	Ⅲ	継続的に取組みができているが、平年並みの実績と評価。
年度	実績	計画																																	
令和2年	1,587	1,587																																	
令和3年	923	923																																	
令和4年	922	922																																	
令和5年	1,976	1,976																																	
令和6年	1,470	1,354																																	
中期計画期間計	6,878	6,762																																	
第2期計（参考）	6,312	6,312																																	
第1期計（参考）	10,826	10,826																																	
年度	実績	計画																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	令和6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策 (●)			自己 評価	自己評価理由
			令和2年	360	360		
			令和3年	367	367		
			令和4年	375	375		
			令和5年	382	382		
			令和6年	390	390		
			中期計画期間計	1,874	1,874		
			第2期計 (参考)	2,750	2,750		
			第1期計 (参考)	10,826	10,826		
			○長期借入金償還額 単位：百万円				
			年度	実績	計画		
			令和2年	1,227	1,227		
			令和3年	555	555		
			令和4年	547	547		
			令和5年	1,593	1,593		
			令和6年	1,080	964		
			中期計画期間計	5,002	4,887		
			第2期計 (参考)	3,562	3,562		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況